公益社団法人
愛知県臨床検査技師会誌

らぼ

Laboratory Work and Research

資　料
学術部研究班記録
会員業績集

The Bulletin of Aichi Association of Medical Technologists
Vol. 68 No.1 2017

文献略号
らぼ
Lab

目　　次

巻　頭　言

会誌「らぼ」68巻の発刊に寄せて …… 会長　椙　山　広　美 …… 1

資　　料

「平成28年度検査室の管理運営に関するアンケート調査」報告

…… 公益社団法人　愛知県臨床検査技師会　組織部　牛　田　展　浩　他… 3

学術部研究班記録 …… 9

会員業績集 ……27

会誌「らぼ」68巻の発刊に寄せて

会長　椙山広美

今年度当会は法人設立30周年を迎え、さらなる躍進の年になります。平成25年４月に公益社団法人を取得し、職能団体として県民のための公益事業を推進しております。そして、我々臨床検査技師は、少子・高齢化の進展、医療技術の進歩、及び医療提供の場の多様化により医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、その変化に対応できる医療人へと日々研鑽を続けています。

当会では、愛知県医学検査学会、精度管理調査、スキルアップ研修会（新人・中堅）、研究班活動と多くの学術活動を展開しています。また、チーム医療推進を図る中、検体採取から検査説明を実施し検査結果の精度保証を確保するとともに、病棟業務や救急検査、そして在宅へと取り組みが進められています。そして、日本臨床衛生検査技師会において病棟業務は実践段階に入っており、検査説明・相談ができる検査技師育成講習会も昨年で終了しましたが、各施設での取り組みが期待されています。さらに、認知症診断にかかせない神経心理学的検査を、より多くの臨床検査技師が担当できるように認知症対応力向上講習会が開催され、当会においても今年度講習会の開催を予定しております。

さて、このような学術活動や我々臨床検査技師の業務範囲を広げる活動の中で、職能団体としての組織強化（人材育成）にも力を入れていかなくてはなりません。その一つとして、学術情報誌に位置づけられる会誌「らぼ」68巻を発刊する運びとなりました。この会誌「らぼ」では、毎年1回愛知県医学検査学会学術奨励賞受賞論文、学術研究班記録、会員業績集の掲載、そして、恒例となりました「検査室の管理運営に関するアンケート調査」の報告をしております。残念ながら、平成28年度に開催された第17回愛知県医学検査学会において学術奨励賞受賞論文の投稿はありませんでしたが、活発な研究班活動や巻末にまとめられた会員の業績一覧においては、当会会員の学術向上の意識が高いことの表れと感じております。この業績一覧は会員からの報告により掲載しております。よって、会員すべての業績報告ではありませんが、業績が記録に残ることは大変貴重なことと考えております。是非、会員の皆様からご報告いただき多くの業績が掲載されることを望みます。ご協力のほどよろしくお願いたします。

「検査室の管理運営に関するアンケート調査」につきましては、毎年同じ内容で継続的に実施してまいりましたが、このアンケートは会員の皆様の業務に参考にしていただくことを目的としております。次年度は、昨今の検査事情に合わせた調査内容へと見直しを図りたいと考えております。今後とも会員のための会誌発行に努めてまいりますので、より一層のご支援とご協

力をお願い申し上げます。

最後になりますが、本誌を発刊するにあたり、広報担当の方々をはじめ関係各位に多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

資　料

資　料

「平成28年度検査室の管理運営に関するアンケート調査」報告

公益社団法人　愛知県臨床検査技師会　組織部

【はじめに】

組織部では今年度も組織実態を把握するためアンケート調査を実施した。主項目として１.病院情報、２.検査室情報、３.労働状況、４.技師職情報、５.業務拡大、６.検査説明、７.病棟検査、８.技師会を挙げ、細項目についてそれぞれ設問に回答して頂いた。対象は愛知県臨床検査技師会に所属する会員施設283施設で、アンケートを配布し所属長に回答を依頼した。回答施設は148施設であり、回収率は52%であった。

このアンケート結果を参考に各施設で今後検討すべき事項を整理して頂けたら幸いです。

【集計結果】

設問１．貴施設の施設概要等についてお尋ねします

１．１　施設分類（図１）では、大学病院が４施設３％（前年３％）、健診部門のある病院が68施設46％（前年47％）、健診部門のない病院が40施設27％（前年21％）、医院･診療所が15施設10％（前年11％）、登録衛生検査所・検査センターが８施設６％（前年７％）、健診機関が６施設４％（前年５％）、保健所が１施設１％（前年１％）、その他が５施設３％（前年５％）であった。

１．２　経営主体（図２）では、国（国立大学法人、国立病院機構、労働者健康安全機構、地域医療機能推進機構､その他）が６施設（４％)､都道府県･市町村・地方独立行政法人・国立大学法人が29施設（20％)、公的医療機関（地方公共団体の組合、国民健康保険団体連合会、日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会､厚生農業協同組合連合会）13施設（９％)、法人関係（医療法人、学校法人、社団法人、財団法人など）が86施設（58％)、その他（医療生活協同組合、会社、その他の法人など）は14施設（９％）であった。

１．３　病床数（図３）では、病床を有さない施設が30施設（20％)、100床未満が23施設（16％)、101 ～ 200床が39施設（26％)、201 ～ 300床が10施設（７％)、301 ～ 500床が26施設（18％)、501

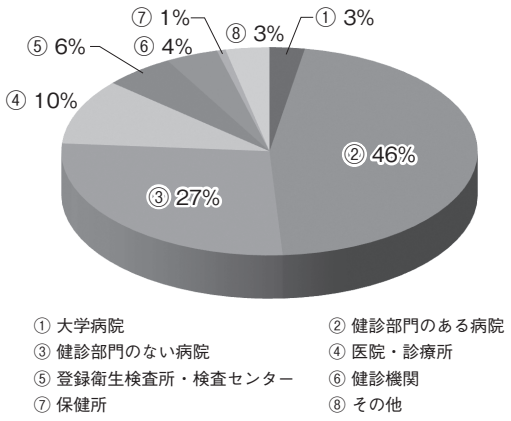


図１　施設分類

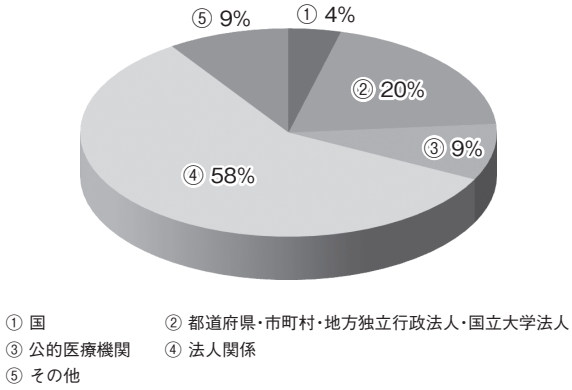


図２　経営主体

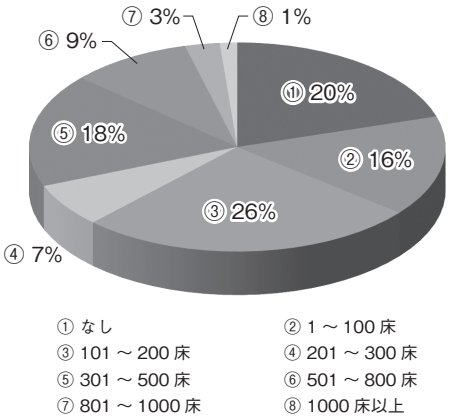


図３　病床数

～ 800床が14施設（９％）、801 ～ 1000床が４施設（３％）、1000床以上が２施設（１％）であった。

設問２．貴施設の検査室概要等についてお尋ねします

２．１　貴施設の検査室運営（表１）

表１　病床数と検査科運営形態

（施設数）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
自主運営	18	17	33	9	21	11	4	2	115
自主運営+ブランチ	5	3	2	1	3	2	0	0	16
ブランチ	0	0	0	0	1	0	0	0	1
FMS	1	0	1	0	1	0	0	0	3
PRT	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	3	2	0	0	1	0	0	10

検査室運営は、全体として自主運営が115施設で79％を占めていた。次いで自主＋ブランチが16施設であった。その他には自主＋一部外部委託等の施設もあった。

２．２　日臨技精度保証施設である（表２）

表２　日臨技精度保証施設

（施設数）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
はい	9	1	9	0	6	10	4	1	40
いいえ	20	21	29	9	20	4	0	1	104
申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予定なし	17	19	24	8	17	4	0	1	90

回答のあった144施設のうち、40施設が精度保証施設で104施設は未取得であった。また前回調査では申請中が３施設あったが、今回の調査では申請中の施設が無く、予定がない施設が90施設であった。今後は省令の公布により何れの施設でも何らかの精度保証は必要となるので日臨技精度保証施設の取得の意義が高くなるものと推測される。

２．３　精度管理は以下の調査に参加している（複数回答可）（表３）

表３　精度管理調査

（施設数）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
日本医師会精度管理調査	15	5	13	7	20	12	4	2	78
日臨技精度管理調査	16	12	24	9	25	12	4	2	104
愛臨技精度管理調査	13	11	27	7	21	12	4	2	97
CAPサーベイ	1	0	0	0	1	0	1	1	4
学会関連の精度管理	2	2	2	0	5	4	1	1	17
企業主催の精度管理	16	6	19	7	15	7	4	2	76
その他	6	1	2	0	0	0	0	0	9

各施設の外部精度管理調査の参加状況は日本医師会精度管理調査（日医）が53％（前回41％）、日本臨床衛生検査技師会（日臨技）が70％（前回46％）、愛知県臨床検査技師会（愛臨技）が66％（前回38％）、CAPサーベイが３％（前回２％）、学会関連の精度管理が11％（前回８％）、企業主催の精度管理が51％（前回31％）、その他が６％（前回６％）であった。前回と比べ、どの精度管理事業も参加施設が増加した。その他には愛知県医師会、全国労働衛生団体連合会などの精度管理に参加している施設があった。

設問３．労働状況についてお尋ねします

３．１　週休形態（表４）

表４　労働状況

（施設数）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
完全週休2日	21	10	20	5	21	10	4	1	92
4週に7日休日	1	2	1	0	3	0	0	0	7
4週に6日休日	3	3	6	4	2	3	0	1	22
4週に5日休日	0	1	3	0	0	0	0	0	4
週休1日半制	1	4	8	0	0	0	0	0	13
週休1日制	3	0	0	0	0	0	0	0	3
その他	1	3	1	1	0	1	0	0	7

週休形態の調査では完全週休２日制の施設が92施設（62％）で前回調査の93施設（62％）とほぼ変わらなかった。施設によって多様な休暇の形態を取っていることが判明した。

３．２　貴施設の時間外勤務形態は（表５）

表５　時間外勤務体制

（施設数）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
当直制	4	0	7	5	19	7	4	1	47
呼び出し対応	4	17	26	4	4	0	0	0	55
フレックス対応	4	1	0	0	0	2	0	0	7
その他	14	3	5	1	3	5	0	1	32

時間外勤務形態の調査では当直制が47施設（33％）、呼び出し対応が55施設（39％）、フレックス対応が７施設（５％）、その他が32施設（23％）であった。その他の回答内容として原則、時間外勤務が全くない施設も21施設（14％）と前回調査（10％）より増加している。

3．3　臨床検査業務に従事している常勤および非常勤臨床検査技師数（表６）

表６　常勤と非常勤の技師数

（人数）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
正職員	259	78	245	90	476	460	233	151	1992
非常勤	118	33	53	12	109	97	15	32	469

臨床検査業務に従事している臨床検査技師数の調査では、全技師に占める非常勤職員の割合は19％と高く、どの病床数の施設でも多く採用されている。

3．4　育児休業の取得状況（表７）

表７　育児休業

（施設数）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
取得できる	16	11	27	8	22	13	4	2	103
取得していない	0	3	3	0	1	0	0	0	7
制度なし	5	2	0	0	0	0	0	0	7
その他	6	7	7	2	3	0	0	0	25

育児休業の取得状況の調査では育児休業を取得できる施設は全体で103施設（73％）であった。500床以上の施設では全施設が取得できていた。

3．5　介護休業の取得状況（表８）

表８　介護休業

（施設数）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
取得できる	8	1	10	3	7	6	2	0	37
取得していない	1	2	6	0	5	1	1	0	16
制度なし	10	4	2	0	1	0	0	0	17
その他	9	16	18	7	13	6	1	2	72

介護休業の取得状況の調査では介護休業を取得できる施設は全体で37施設（26％）であった。その他の回答内容として「制度自体はあるが、今まで該当する技師がいなかったので実際に取得できるかわからない」との意見が多数あった。

3．6　定年後再雇用や職務延長制度について（表９）

表９　再雇用

（施設数）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
60才定年	4	2	1	0	1	2	0	0	10
再雇用あり	21	16	32	10	25	12	3	2	121
職務延長あり	3	3	3	0	0	0	0	0	9
その他	1	2	2	0	0	0	1	0	6

定年後再雇用や職務延長制度についての調査では定年後、再雇用制度がある若しくは職務延長制度があると回答した施設は121施設(89％)に達し、年々増加している。その他の回答内容として定年後再雇用という形ではなく65歳での定年制度となっている施設も数施設あった。

設問４．技師職についてお尋ねします

4．1　貴施設の検査技師の男女比について（正職員・非常勤・パート含）（表11）

表11　技師の男女比

（％）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	全体
男性（％）	22	26	28	41	37	40	38	36	31％
女性（％）	78	74	72	59	63	60	62	64	69％
女性比率別（施設数）									
0～ 20％	2	2	1	1	0	0	0	0	6
21～ 40％	1	1	3	0	1	2	0	0	8
41～ 60％	1	3	10	4	8	4	2	0	32
61～ 80％	9	4	9	4	16	8	2	2	54
81～100％	14	12	16	1	1	0	0	0	44

検査技師の男女比についての調査では病床数なしから200床までの施設で女性の比率が70％以上と高い傾向にあった。病床数にかかわらずすべての施設の平均でも女性が70％弱と男性技師を大きく上回っていた。

4．2　課長、係長、主任等の役職者における女性の割合は（表12）

表12　役職の女性比率

（％）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	全体
役職比率(％)	49	34	34	43	40	43	44	44	40

課長、係長、主任等の役職者における女性の割合の調査では施設の規模に関わらず、40％前後の比率で女性技師が役職に就いていた。

４．３　認定資格取得者数H28年12月末現在でお答えください（表13）

表13　認定資格

（人数）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
超音波検査士	35	15	28	12	80	56	30	22	278
細胞検査士	17	0	7	14	68	63	27	15	211
認定輸血検査技師	2	1	1	4	17	25	13	9	72
認定臨床微生物検査技師	0	0	1	1	2	12	8	3	27
認定一般検査技師	3	1	0	0	7	5	3	6	25
認定血液検査技師	0	0	1	2	7	9	6	8	33
認定心電検査技師	2	1	0	4	14	21	6	12	60
認定病理検査技師	0	0	0	1	8	10	6	5	30
認定臨床緊急検査士	0	2	7	5	23	19	5	17	78
認定臨床染色体遺伝子検査師	1	0	0	0	1	1	0	1	4
認定総合監理検査技師	0	0	0	0	0	0	1	0	1
認定認知症領域検査技師	0	0	0	0	1	2	0	1	4
認定救急検査技師	0	0	0	2	5	15	1	5	28
臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師	0	0	0	1	0	2	3	2	8
日本糖尿病療養指導士	4	2	4	4	24	34	6	6	84
一級臨床検査士	0	0	0	0	0	0	0	1	1
二級臨床検査士	15	5	8	2	32	42	18	75	197
その他の認定技師	15	16	6	3	40	32	22	10	144

認定資格取得者数の調査では施設の日常業務の必要性から超音波検査士、細胞検査士の取得者の比率が高かった。次いで、二級臨床検査士、日本糖尿病療養指導士、認定臨床緊急検査士、認定輸血検査技師、認定心電検査技師が施設の規模に関わらず取得者が多かった。その他の認定技師の内訳は学会認定技術師（脳波分野、筋電図・神経伝達分野）、血管診療技師、認定エンブリオロジスト、臨床工学技士、ＮＳＴなどで大規模施設ほど様々な分野の認定取得者が多く見られた。

設問５．検体採取についてお尋ねします

５．１　検体採取等に関する厚生労働省指定講習を受講された臨床検査技師の割合（表14）

表14　検体採取指定講習受講割合

（%）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	全体
正職員	42	43	56	75	67	86	80	65	58
非常勤	20	19	14	20	26	33	33	32	21

検体採取等に関する厚生労働省指定講習受講についての調査では病床数なしから200床までの施設では受講者が少ない傾向にあった。また、非常勤職員の受講率は正職員に比べどの規模の施設でも半分以下であった。

５．２　今後、全ての臨床検査技師の職員に対して指定講習を求める予定は（表15）

表15　指定講習受講予定

（施設数）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
ある	7	10	14	6	15	10	3	1	66
どちらともいえない	8	6	15	3	8	3	1	0	44
ない	12	5	7	1	2	1	0	1	29

今後、全ての臨床検査技師の職員に対して検体採取等に関する指定講習を求める予定について調査したところ病床のない施設では今後も受講予定がない施設が、あると答えた施設を上回った。

５．３　指定講習費用の拠出は（表16）

表16　指定講習受講費用

（施設数）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
全て施設負担	14	7	14	4	8	5	1	1	54
受講料のみ	1	3	5	2	5	4	2	0	22
全て自費	6	8	15	4	11	5	1	1	51
その他	6	3	3	0	2	0	0	0	14

指定講習費用の拠出について調査したところ施設の規模に関わらず全て自費負担と答えた施設と全て施設負担と答えた施設がほぼ同数であった。指定講習費用の拠出区分に関わらず、臨床検査技師国家資格に付随する臨床検査業務拡大において必須な資格であることを充分に理解し、既卒者は早期受講を願いたい。

５．４　貴施設で臨床検査技師が行なっている検体採取業務はありますか（複数回答可）（表17）

表17　臨床検査技師が行なっている検体採取業務

（施設数）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
鼻腔拭い液、鼻腔吸引液、咽頭拭い液	6	8	13	2	8	3	0	0	40
粘膜	4	3	4	1	1	1	0	0	14
病変部位の膿	2	3	2	1	0	0	0	0	8
体表の付着物	3	3	8	1	1	1	0	0	17
糞便	2	3	6	0	2	0	0	0	13
嗅覚検査	0	0	0	0	0	0	0	1	1
味覚検査	0	0	0	1	2	0	0	1	4
実施していない	21	14	22	8	17	10	4	1	97

臨床検査技師が行なっている検体採取業務について調査したところ未だ臨床検査技師が全く検体

採取を行なっていない施設が97施設（66%）に上ることが判明した。実施している業務としては、鼻腔拭い液、鼻腔吸引液、咽頭拭い液等を採取する行為が最も多く、次いで鱗屑、痂皮その他の体表の付着物を採取する行為、表皮並びに体表及び口腔の粘膜を採取する行為、綿棒を用いて肛門から糞便を採取する行為が多かった。

設問６．臨床検査技師による患者さんへの検査説明についてお尋ねします

６．１　外来・病棟等で検査説明の相談窓口を開設していますか（表18）

表18　検査説明

（施設数）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
外来にて実施	2	1	1	0	2	4	1	0	11
病棟にて実施	0	1	1	0	0	2	0	0	4
現在検討中	0	0	1	1	1	1	0	0	4
実施していない	26	21	36	9	22	7	3	2	126

外来・病棟等で検査説明の相談窓口を開設しているか調査したところ実際の業務において臨床検査技師が検査説明を行なっている割合は15施設（13%）のみであった。

設問７．病棟業務についてお尋ねします

７．１　病棟に臨床検査技師を配置していますか（表19）

表19　病棟業務

（施設数）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
常駐させている	0	0	1	0	1	2	0	1	5
部分的に配置	0	0	1	0	1	0	1	0	3
サポート体制構築	0	0	0	1	0	2	0	0	3
現在検討中	0	0	1	0	1	1	1	0	4
実施していない	22	23	36	9	23	9	2	1	125

病棟に臨床検査技師を配置しているかの質問では現段階では臨床検査技師が病棟検査業務を行なっている割合は８施設（11%）のみであった。近い将来（2025年対応）に向け、臨床検査技師の業務拡大を視野に、各施設の機能に合わせた関わりを期待したい。

設問８．技師会についてお尋ねします

８．１　会員の割合（表20）

表20　会員割合

（%）

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	全体
技師会会員割合	67	69	76	82	86	96	96	95	78

技師会への参加率について調査したところ大規模施設ほど技師会加入割合が高く、施設会員全体では78%であった。

８．２　愛臨技が取り組むべき活動やその他ご意見があればお書きください。

以下のような意見が寄せられた。

- 各種講習会に非会員が出られない。参加費用に差が生じてもよいので出られる体制があって良いと考える。
- 管理者研修を企画して欲しい。
- 技師会主催の勉強会をもっと増やして欲しい。
- 技師数の少ない施設でも参加しやすい、気軽な勉強会や研修会を行って欲しい。
- クリニック、個人病院などの小規模病院の技師も積極的に参加できる研修会を企画して欲しい。
- 検査の結果について、次の検査をチャート式など医師に伝えることが出来ると良い。次に進むべき検査が出来ずに患者様の診断に遅れがあります。技師に協力できる事はしたいと考えています。
- 産休や病欠で一定期間休む人が出た時、支援頂けるシステムがあるといいと思います。（法律等の問題があると思いますが…）
- 日臨技生涯教育研修制度の基礎教科60点以上を習得しやすくして欲しい。
- もっと院内の委員会活動（院内感染、輸血、医療安全等）の為になるような講習を開いて欲しい。
- 検査室外の業務、訪問医療の様に病院外の業務に関与できる様、いろいろな施設と連携して推進して下さい。
  医療に貢献できるボランティア（災害派遣、ＨＩＶ等）に積極的に関与して、検査技師の有用性を世に広めましょう。認知症関連でも何でも参加していけば道が見えてくると思います。当然、人材派遣には積極的に協力します。参加者に与える「やりがい」も必要な糧となっていきます。
  養成学校と連携を深め、臨床検査技師の仕事、職場をＰＲして下さい。またリクルートの様に合同の説明会、面接会も良いと思います。良い職場には良い人材が集まるという仕組みが組織改善にもつながると思います。
  学生には幅広い選択肢を与えたいと思います。臨床検査業務以外の検査技師とも密接なコミュニケーションをとって情報収集して下さい。「研究職には検査技師が欲しい！」と言われる様になりたいです。
  輸血の副作用確認、製剤投与は認定輸血技師、できれば臨床検査技師ができる様に活動しましょう。Ｎｓは可能な業務が多種です。少しでも追いつきましょう。

【結　　語】

この度はご多忙の中、アンケート回答頂きました148施設の方々に深謝致します。

平成27年４月、法改正で臨床検査技師の検体採取業務が拡大されました。これに伴う厚生労働省指定講習を受講された方も多いと思います。また検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会の開催も昨年で３年目となり、こちらの講習会にも愛臨技として210名の方が参加されました。しかしながら、今回の調査では検体採取、検査説明ともまだまだ施設においては臨床検査技師の業務拡大が反映されていない状況にあるというアンケート結果でした。今後さらに臨床検査技師の業務についてＰＲに努めなくてはなりません。また、省令により精度管理の必要性が臨床検査技師法において公布されました。今後はこうした精度管理における実態調査を行い情報の提供を行ってまいりたいと思います。

最後に、ご意見やご要望につきましては愛臨技で実施する行事に反映できるか否かを検討させて頂きます。今後とも会員諸氏のご指導・ご鞭撻をお願いするとともに、有意義な技師会活動を実践するためにご協力を宜しくお願い申し上げます。

【アンケート調査担当委員】

牛田 展浩[1)]、矢田 啓二[2)]、南里 隆憲[3)]
白石 了三[4)]、迫　 欣二[5)]、大橋 功男[6)]
後藤 慎一[7)]、池山 真治[8)]、平田 基裕[9)]
長谷川 義幸[10)]、伊藤 友一[11)]、中根 生弥[12)]

[1)] 宏潤会だいどうクリニック
[2)] 国立病院機構名古屋医療センター
[3)] 名古屋市立東部医療センター
[4)] 半田市医師会健康管理センター
[5)] 厚生連知多厚生病院
[6)] 春日井市健康管理事業団春日井市保健センター
[7)] 春日井市民病院
[8)] NPO法人健康情報処理センターあいち
[9)] 青山病院
[10)] 名古屋市立大学病院
[11)] 岡崎市民病院
[12)] 厚生連豊田厚生病院

学術部研究班記録

微生物検査研究班

《講演会》
日　時：平成28年12月17日（土）15：30～18：00
場　所：名古屋市立大学医学研究科・医学部
　　研究棟11階講義室A
参加者：91名
テーマ：臨床微生物検査の最新トピックス2016
　　～菌力アップトレーニング「菌トレ」も含めて～
講　師：東京医科大学微生物学講座　　大楠　清文
司　会：刈谷豊田総合病院　　藏前　　仁
教科分類：専門教科　20点

《基礎講座》
日　時：平成28年10月16日（日）９：00～16：00
場　所：名古屋大学医学部　基礎研究棟
　　第１講義室・実習室
参加者：36名
テーマ：用手法検査の基礎
　　～機械じゃない検査を学ぶいい機会～
講　師：１．グラム染色～手技上の注意点～
　　名古屋市立大学病院　　畑　七奈子
　　２．画線分離培養の方法と意義
　　愛知医科大学病院　　坂梨　大輔
　　３．特徴付け試験の手技・使いどころ
　　JA愛知厚生連　江南厚生病院
　　河内　　誠
　　４．イムノクロマト法の原理
　　公立陶生病院　　位田　陽史
　　５．呼吸器POCTの注意点
　　JA愛知厚生連　安城更生病院
　　近藤　　好
　　６．糞便POCTの注意点
　　小牧市民病院　　西尾美津留
　　７．個人防護具の適正使用
　　刈谷豊田総合病院　　藏前　　仁
　　８．実習のまとめ・ねらい
　　藤田保健衛生大学病院　　細田　卓也
実務委員：微生物検査研究班班員
教科分類：専門教科　20点

《研究会》
日　時：平成28年４月２日（土）15：30～18：00
場　所：名城病院　地下大会議室
参加者：73名
テーマ１：学会レビュー「第27回臨床微生物学会の発表を詳しく聞いてみたい!」
講　師：１）糞便検体よりIMP-1型Metallo-β-lactamaseを産生する*Salmonella*属が検出された症例
　　藤田保健衛生大学　　細田　卓也
　　２）当院におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌検出時の積極的保菌調査の取り組み
　　名古屋大学医学部附属病院
　　嶋岡　菜美
　　３）当院で臨床分離された広域β-ラクタム薬耐性腸内細菌科細菌と各種検出方法の検討
　　JA愛知厚生連 海南病院　魚住　佑樹
　　４）当院における術前MRSA検査の10年間の検出状況と薬剤感受性推移
　　名城病院　　清水　聖一
テーマ２：学会ワークショップ
講　師：迷えるあなたの道標～欠如しがちな「躾」「教育」「評価」を考える～
　　豊橋市民病院　　山口　育男
司　会：名古屋第二赤十字病院　　原　　祐樹
　　刈谷豊田総合病院　　藏前　　仁
教科分類：専門教科　20点

《研究会》
日　時：平成28年７月２日（土）15：30～18：00
場　所：名城病院　地下大会議室
参加者：102名
テーマ：自信ありますか？真菌検査
講　師：１．酵母様真菌
　　名古屋大学医学部附属病院
　　長田ゆかり
　　２．糸状菌
　　JA愛知厚生連 足助病院　河合　浩樹
司　会：JA愛知厚生連 江南厚生病院　河内　　誠
教科分類：基礎教科　20点

《研究会》
日　時：平成28年10月1日(土) 15:30～18:00
場　所：アーバンネット名古屋ビル20F（シスメックス名古屋支店）
参加者：46名
テーマ：ケースカンファレンスで学ぶ蚊媒介感染症
　　-海外渡航者の発熱に対応する-
講　師：１．症例検討
　　名古屋第二赤十字病院　　原　　祐樹

２．海外渡航後の発熱時の鑑別疾患
愛知医科大学病院　宮﨑　成美
３．保健所との対応
岡崎市保健所　中根　邦彦
４．蚊媒介感染症とその予防
JA愛知厚生連　豊田厚生病院
永田　悠起
司　会：刈谷豊田総合病院　蔵前　仁
教科分類：専門教科　20点

《研究会》
（精度管理報告会）
日　時：平成29年３月４日（土）15：30～18：00
場　所：名城病院　地下大会議室
参加者：81名
テーマ：技術の精度保証を考える
講　師：１．平成28年度愛臨技精度管理報告
名古屋第二赤十字病院　原　祐樹
２．二級臨床検査士試験から学ぶ微生物検査の基礎技術
JA愛知厚生連 江南厚生病院
及川　加奈
刈谷豊田総合病院　中村　友紀
司　会：JA愛知厚生連 江南厚生病院　河内　誠
教科分類：基礎教科　20点

血液検査研究班

《講演会》
日　時：平成28年７月16日（土）15：30～17：00
場　所：名古屋大学医学部基礎棟３Ｆ　第２講義室
参加者：会員90名　その他１名
テーマ：病理からみたリンパ腫
講　師：１.「これだけは押さえておきたい！リンパ腫の基礎知識」
岡山大学大学院保健学研究科
病態情報科学　佐藤　康晴
２.「リンパ系腫瘍の病理検査」
藤田保健衛生大学病院　病理部
川島　佳晃
司　会：JA愛知厚生連　豊田厚生病院
酒巻　尚子
教科分類：専門教科　20点

《研究会》
日　時：平成28年５月21日（土）15：00～17：00
場　所：JA愛知厚生連　豊田厚生病院
２階講義室
参加者：44名（会員42名申請中２名）
テーマ：初心者を対象にした
形態グループ・ミーティング
（第16回検査血液学会提供症例）
講　師：JA愛知厚生連　豊田厚生病院
酒巻　尚子
名古屋大学医学部附属病院　亀山なつみ
豊橋市民病院　近藤　由香
司　会：愛知医科大学病院　寺島　舞
教科分類：専門教科　20点

《研究会》
日　時：平成28年11月19日（日）15：00～17：00
場　所：アーバンネット名古屋ビル20Ｆ（シスメックス名古屋支店）
参加者：75名
テーマ：初心者向け！血液像の見方
講　師：JA愛知厚生連 江南厚生病院　川﨑　達也
司　会：株式会社　グッドライフデザイン
加藤　太一
教科分類：専門教科　20点

《研究会》
日　時：平成29年２月18日（土）15：00～17：00
場　所：アーバンネット名古屋ビル20Ｆ（シスメックス名古屋支店）
参加者：47名
テーマ：１．精度管理報告会
２．血液形態検査における標準化の普及に向けて
講　師：１．血球計数部門報告
JA愛知厚生連豊田厚生病院
酒巻　尚子
形態部門報告
愛知医科大学病院　寺島　舞
２．愛知医科大学病院　今井　正人
司　会：名古屋大学医学部附属病院　山本ゆか子
教科分類：基礎教科　20点

生物化学分析検査研究班

《講演会》
日　時：平成28年７月２日（土）14：30～17：00
場　所：アーバンネット名古屋ビル20Ｆ（シスメックス名古屋支店）
参加者：86名
テーマ：臨床検査業務における最近のトピックス
講　師：１．臨床検査技師による検体採取への取り組み
豊田厚生病院　中根　生弥
２．臨床化学検査標準化までの道筋を振り返る
公立西知多総合病院　山内　昭浩
３．共用基準範囲院内導入について
岐阜大学医学部附属病院　古田　伸行
４．臨床検査のプレゼンスを高めるために
熊本大学医学部附属病院　池田　勝義
司　会：藤田保健衛生大学病院　藤田　孝
教科分類：専門教科20点

《基礎講座》
日　時：平成28年10月16日（日）9：30～16：30
場　所：刈谷豊田総合病院　診療棟５階
第1-2会議室
参加者：55名
テーマ：分析の基礎と病態解明
講　師：１．自動分析装置を基礎から学ぶ
株式会社日立ハイテクノロジーズ
医用システム製品本部東京テクニカルセンター　加藤　恵
２．自動分析装置に供給する純水の基礎と検査への影響
メルク株式会社ラボラトリーウォーター事業部　金沢　旬宣
３．Reversed-CPC
刈谷豊田総合病院　腎・膠原病内科
小山　勝志
司　会：名古屋第一赤十字病院　山森　雅大
刈谷豊田総合病院　磯部　勇太
教科分類：専門教科20点

《研究会》
（生物化学研究班・生殖医学研究班合同研究会）
日　時：平成28年４月２日（土）15：00～17：00
場　所：株式会社カーク本社ビル5F大会議室
参加者：47名
テーマ：婦人科系ホルモンと生殖医療
講　師：１．婦人科系ホルモンの動態
（一社）半田市医師会健康管理センター
青木　岳史
２．HCGの測定意義
藤田保健衛生大学病院　西垣　亮
３．生殖医療の現状
小牧市民病院　藤田　京子
司　会：社会医療法人　大雄会　総合大雄会病院
森部　龍一
豊橋市民病院　鈴木　範子
教科分類：専門教科20点

《研究会》
日　時：平成28年11月５日（土）15：00～17：00
場　所：豊田厚生病院２階第１会議室
参加者：44名
テーマ：リウマチと肺炎
講　師：１．リウマチにおけるMMP-3の測定意義
名古屋第一赤十字病院　服部　拓哉
２．間質性肺炎の血清マーカー
豊田厚生病院　高井　美帆
３．進歩が著しい関節リウマチ治療に関する話題
積水メディカル株式会社　金田　幸枝
エーディア株式会社　岩田　亮一
司　会：株式会社グッドライフデザイン
佐藤　文明
藤田保健衛生大学病院　西垣　亮
教科分類：専門教科20点

《研究会》
日　時：平成29年２月４日（土）15：00～17：00
場　所：株式会社カーク本社ビル5F大会議室
参加者：72名
テーマ：平成28年度愛臨技精度管理報告
敗血症診療ガイドライン
講　師：１．臨床化学部門　精度管理報告
厚生連江南厚生病院　林　克彦
愛知医科大学病院　森部　龍一
２．免疫血清部門　精度管理報告
名古屋掖済会病院　岡本　明紘
３．敗血症診療ガイドラインの変遷とプレセプシンのご紹介
株式会社　LSIメディエンス　大島　匠平
司　会：厚生連安城更生病院　鈴木　美穂
（一社）半田市医師会健康管理センター

青木　岳史

教科分類：基礎教科20点

病理細胞検査研究班

《講演会》
日　時：平成28年12月３日（土）15：00～17：00
場　所：アーバンネット名古屋ビル20Ｆ（シスメックス名古屋支店）
参加者：53名
テーマ：臨床からみた泌尿器細胞診と新報告様式に沿った細胞像
講　師：１．泌尿器新報告様式に沿った細胞判定と細胞像
公立西知多総合病院　今井　律子
２．尿細胞診の臨床応用について
名古屋第二赤十字病院　泌尿器科
山田　浩史
司　会：公立西知多総合病院　吉本　尚子
教科分類：専門教科20点

《基礎講座》
日　時：平成28年10月16日（日）9：00～16：00
場　所：名古屋大学保健学科
3F実習室　第1講義室　第2講義室
参加者：64名
テーマ：乳腺の病理細胞検査学の基礎を学ぶ
講　師：１．乳腺の解剖組織学とその疾患
JA愛知厚生連　海南病院
北島　聖晃
２．乳腺の超音波画像
藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院
池田　美奈
３．乳癌の遺伝子学とHER2（FISH）法
JA愛知厚生連　江南厚生病院
千田　美歩
４．乳腺組織の凍結標本の理論と作製のコツ
西尾市民病院　中村　広基
５．病理実技実習
司　会：名城病院　橋村　正人
教科分類：専門教科20点

《研究会》
日　時：平成28年5月14日（土）15：00～17：00
場　所：名古屋医療センター　特別会議室
参加者：84名
テーマ：免疫染色とFISH法の前処理について
～HER2検査を中心に～
講　師：１．免疫染色のピットホールとその対策
西尾市民病院　中村　広基
２．自動前処理器によるFISH標本作成の現状
名古屋第二赤十字病院　岩田　英紘
３．病理材料からのFISH解析の実際と染色法の工夫
名古屋第一赤十字病院　郡司　昌治
司　会：名城病院　橋村　正人
教科分類：専門教科20点

《研究会》
日　時：平成28年７月９日（土）15：00～17：00
場　所：名城病院　地下大会議室
参加者：37名
テーマ：病理検査の医療安全
講　師：１．現場で行うべき医療安全行動とは
～２年間の活動を通して～
名城病院　リスクマネージャー
今野　里奈
２．再発防止システムである
根本原因分析法（ＲＣＡ）について
藤田保健衛生大学　坂文種報徳會病院
今枝　義博
司　会：小牧市民病院　藤田　智洋
教科分類：専門教科20点

《研究会》
（病理細胞検査研究班・生理検査研究班合同研究会）
日　時：平成29年１月14日（土）15：00～17：00
場　所：名古屋第二赤十字病院　研修ホール
参加者：97名
テーマ：乳癌診療に関わる臨床検査　超音波検査と病理検査の役割を知るために
講　師：１．病理レポートの理解を深める
～サブタイプ分類とHER2検査を理解するために～
愛知県がんセンター中央病院
柴田　典子
２．乳腺超音波画像の読み方、捉え方
JCHO　中京病院　加藤　鮎美
３．実際の症例で考えてみよう！
超音波検査
名古屋第二赤十字病院　石神　弘子
病理検査
名古屋第二赤十字病院　長田　裕之
司　会：大雄会　総合大雄会病院　西谷由美子
半田市立半田病院　村雲　望
名城病院　橋村　正人

教科分類：専門教科20点

《研究会》

日　時：平成29年２月11日（土）15：00～17：00
場　所：㈱カーク本社ビル5F　会議室
参加者：34名
テーマ：平成28年度愛臨技精度管理調査報告
　　ISO 15189：2012 認証取得施設の一例
講　師：１．精度管理調査報告　細胞部門
　　医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院
　　中根　昌洋
　　２．精度管理調査報告　病理部門
　　公立陶生病院　柚木　浩良
　　３．ISO 15189：2012 認証取得施設の一例
　　名古屋大学医学部附属病院
　　原　稔晶
司　会：藤田保健衛生大学病院　川島　佳晃
教科分類：基礎教科20点

生理検査研究班

《講演会》

日　時：平成28年７月23日（土）15：00～17：00
場　所：名古屋市立大学　医学研究科　医学部研究棟11階A講義室
参加者：145名
テーマ：検査技師が知っておきたい呼吸機能検査とその疾患
講　師：１.「呼吸機能検査における精度管理～平成27年愛臨技精度管理調査のアンケート結果報告～」
東海記念病院　宮田　真希
２.「VC・FVC測定での注意点」
（一社）半田市医師会健康管理センター　山口　温子
３.「主要な呼吸器疾患の知識」
刈谷豊田総合病院
呼吸器・アレルギー内科　吉田　憲生
司　会：藤田保健衛生大学　刑部　恵介
（一社）半田市医師会健康管理センター　山口　温子
教科分類：専門教科20点

《基礎講座》

日　時：平成28年12月４日（日）9：00～17：00
場　所：名古屋第二赤十字病院　加藤化学カンファレンスホール
参加者：87名
テーマ：心臓超音波検査の基礎
講　師：【全体講演】
１.「断層法に必要な知識」
名古屋第二赤十字病院　石神　弘子
２.「心エコーの描出方法」
公立陶生病院　大竹　悦子
【ランチョンセミナー】
「ドプラ法で知っておきたいポイント」
JA愛知厚生連　安城更生病院　犬塚　斉
【A：初心者コース】
１.「心エコーでみつけた心臓内構造物」
津島市民病院　山梶　恵美
２.「asynergyクイズ」
半田市立半田病院　村雲　望
【B：初級者コース】
１.「あなたならどのように検査しますか？①心雑音」
豊橋市民病院　手嶋　充善
２.「あなたならどのように検査しますか？②胸痛」
藤田保健衛生大学病院　神野　真司
司　会：JA愛知厚生連　江南厚生病院　柴田　康孝
藤田保健衛生大学　刑部　恵介
西尾市民病院　鈴木　更織
実技講師：名古屋掖済会病院　佐々木玲子
津島市民病院　山梶　恵美
半田市立半田病院　村雲　望
総合大雄会病院　西谷由美子
JA愛知厚生連　海南病院　樋口　昌哉
東海記念病院　宮田　真希
公立陶生病院　大竹　悦子
豊橋市民病院　手嶋　充善
教科分類：専門教科20点

《研究会》

日　時：平成28年９月17日（土）15：00～17：00
場　所：名古屋市立大学 医学研究科 医学部研究棟11階講義室A
参加者：143名
テーマ：腹部エコーからはじまる消化器診療
講　師：名古屋掖済会病院　消化器科部長　大橋　暁
司　会：名古屋掖済会病院　佐々木玲子
教科分類：専門教科20点

《研究会》

日臨技認定心電検査技師認定更新指定研修会
日　時：平成28年10月15日（土）15：00～18：20
場　所：名古屋市立大学 医学研究科 医学部研究棟11階講義室A
参加者：118名
テーマ：臨床に応えられる心電技師になろう！
講　師：１.「ペースメーカと心電図」
セントジュードメディカル　田島　佳典
２.「事情聴取！頻りと脈拍つ心電図を追究せよ。」
名古屋セントラル病院　伊藤　太
３.「心電図から読み解くカテーテルアブレーションの基礎」
藤田保健衛生大学病院循環器内科講師　原田　将英
司　会：JA愛知厚生連　江南厚生病院　柴田　康孝

教科分類：専門教科20点

《研究会》
日　時：平成28年11月19日（土）15：00～17：00
場　所：名古屋市立大学 医学研究科 医学部研究棟
　　11階講義室A
参加者：104名
テーマ：脳神経検査に関わる画像診断
講　師：１．中枢神経の画像診断について
　　～頭部画像診断を中心として～
　　社会医療法人大雄会　総合大雄会病院
　　技術放射線科　　日比野友也
　　２．神経放射線画像の読み方
　　名古屋市立東部医療センター
　　第一放射線科　　武藤　昌裕
司　会：西尾市民病院　　鈴木　更織
教科分類：専門教科20点

《研究会》
（生理検査研究班・病理細胞検査研究班合同研究会）
日　時：平成29年１月14日（土）15：00～17：00
場　所：名古屋第二赤十字病院　研修ホール
参加者：97名
テーマ：乳がん診療に関わる臨床検査
　　超音波検査と病理検査の役割を知るために
講　師：１．病理レポートの理解を深める
　　～サブタイプ分類HER2検査を理解するために～
　　愛知県がんセンター中央病院
　　柴田　典子
司　会：大雄会 総合大雄会病院　　西谷由美子
講　師：２．乳線超音波画像の読み方、捉え方
　　JCHO　中京病院　　加藤　鮎美
司　会：半田市立半田病院　　村雲　　望
講　師：３．実際の症例で考えてみよう！
　　超音波検査
　　名古屋第二赤十字病院　　石神　弘子
　　病理検査
　　名古屋第二赤十字病院　　長田　裕之
司　会：名古屋大学大学院　医学系研究科
　　橋本　克訓
教科分類：専門教科20点

《研究会》
日　時：平成29年２月18日（土）15：00～17：00
場　所：名古屋市立大学　医学研究科　医学部研究棟　11階講義室A
参加者：66名
テーマ：平成28年度愛臨技サーベイ解説
講　師：１．愛臨技精度管理調査報告
　　豊橋市民病院　　手嶋　充善
　　２．心電図
　　JA愛知厚生連　渥美病院
　　鋤柄　冴美
　　３．脳･神経生理
　　名古屋大学医学部附属病院
　　榊原久美子
　　４．呼吸機能
　　JA愛知厚生連　海南病院
　　樋口　昌哉
　　５．心・血管エコー
　　津島市民病院　　山梶　恵美
　　６．腹部・表在エコー
　　JCHO中京病院　　加藤　鮎美
司　会：JA愛知厚生連　江南厚生病院
　　柴田　康孝
教科分類：基礎教科20点

一般検査研究班

《講演会》
日　時：平成28年12月17日（土）15：00～17：00
場　所：社会医療法人宏潤会
　　だいどうクリニック５階講堂
参加者：42名
テーマ：膠原病領域における腎病変
講　師：１．膠原病・腎臓領域の診断に必要な検査とその使い方
　　社会医療法人宏潤会大同病院
　　膠原病・リウマチ内科部長
　　土師陽一郎
　　２．１日研究会・基礎講座アンケート集計報告
　　国立病院機構名古屋医療センター
　　石田　容子
司　会：社会医療法人宏潤会大同病院　浅井　千春
教科分類：専門教科20点

《基礎講座》
（認定一般検査技師指定講習会）
日　時：平成28年11月13日（日）9：30～16：30
場　所：名古屋大学医学部基礎棟3F　第一講義室
参加者：79名
テーマ：基礎を学ぼう尿沈渣‼初心者歓迎‼
　　日当直に役立つ尿沈渣の基礎－実践編－
　　１．講演
　　１）心腎関連－尿中アルブミン測定の重要性を含めて－
　　平光ハートクリニック院長
　　平光　伸也
司　会：藤田保健衛生大学　医療科学部
　　星　　雅人
　　２）尿沈渣スライドカンファレンス
　　公立西知多総合病院臨床検査科
　　加藤　節子
司　会：公立西知多総合病院臨床検査科
　　服部　　聡
　　２．尿沈渣鏡検実習
　　３．グループディスカッション
教科分類：専門教科20点

《研究会》
日　時：平成28年７月10日（日）10：00～16：30
場　所：名古屋市立大学医学部本部棟4Fホール
参加者：95名
テーマ：「硝子円柱の基礎
　　～硝子円柱の臨床的意義について～」
講　師：１．硝子円柱の見方
　　～アンケート調査から分かること～
　　岐阜大学医学部大学院
　　病態情報解析医学　　稲垣 勇夫
　　２．硝子円柱の研究
　　Part1～硝子円柱数の基準値の検討および上皮円柱の判定基準について～
　　岐阜大学医学部附属病院検査部
　　牛丸　星子
　　３．硝子円柱の研究
　　Part2～硝子円柱数と腎関連マーカーによる検討～
　　岐阜大学医学部附属病院検査部
　　石田真理子
司　会：医療法人　青山病院　　平田　基裕

テーマ：「初心者歓迎‼日当直に役立つ尿沈渣の基礎」
講　師：１．尿沈渣作製方法・検鏡方法
　　特定医療法人衆済会　増子記念病院
　　平田　弘美
　　２．赤血球・白血球の見方
　　藤田保健衛生大学 医療科学部
　　星　　雅人
　　３．上皮細胞の見方
　　JA愛知厚生連 豊田厚生病院
　　鈴木　康太
　　４．円柱の見方
　　JA愛知厚生連 江南厚生病院
　　伊藤　康生
　　５．結晶の見方
　　社会医療法人明陽会　成田記念病院
　　望月　里恵
司　会：名古屋大学医学部附属病院　　岩崎　卓識
　　豊川市民病院　　永井　君子
教科分類：専門教科：20点

《研究会》
日　時：平成28年10月８日（土）15：30～17：30
場　所：リップルスクエア（シスメックス株式会社名古屋支店）
参加者：51名
テーマ：寄生虫検査の現状とトピックス
講　師：１．愛知県における寄生虫検査の現状
　　～2014年度アンケート調査より～
　　医療法人青山病院　　平田　基裕

２．寄生虫検査～糞便検査の手引き～
（AiCCLSリーフレット）
名古屋第二赤十字病院　安土みゆき
３．寄生虫でない物が寄生虫として検査で依頼されたら？
藤田保健衛生大学病院　長嶌　和子
司　会：碧南市民病院　包原　久志
教科分類：専門教科：20点

《尾張東地区・一般検査研究班合同研修会》
日　時：平成29年１月14日（土）15：30～17：30
場　所：名古屋市立東部医療センター
救急外来棟　４階　多目的ホール
参加者：64名
テーマ：ここが大切‼尿検査
（日当直で失敗しないためのポイント教えます）
講　師：１．尿路感染について
国家公務員共済組合連合会　名城病院
池崎　幸司
２．血尿診断ガイドラインと赤血球の見方
名古屋第二赤十字病院　安土みゆき
３．日当直や救急時の尿検査の有用性
医療法人青山病院　平田　基裕
４．悪性腫瘍について
名古屋大学医学部附属病院
岩崎　卓識
教科分類：専門教科20点

《研究会》
愛臨技精度管理事業
日　時：平成29年２月11日（土）15：30～17：30
場　所：名城病院　地下大会議室
参加者：51名
テーマ：平成28年度愛臨技精度管理報告会
講　師：名古屋大学医学部附属病院　岩崎　卓識
JA愛知厚生連豊田厚生病院　鈴木　康太
医療法人青山病院　平田　基裕
社会医療法人明陽会　成田記念病院
望月　里恵
司　会：名古屋大学医学部附属病院　岩崎　卓識
特別講演
テーマ：命を脅かす寄生虫症
講　師：愛知医科大学医学部 感染・免疫学講座
角坂　照貴
司　会：愛知医科大学病院　山口　京子
教科分類：基礎教科：20点

輸血検査研究班

《講演会》
日　時：平成28年12月17日（土）15：00～17：30
場　所：名古屋第一赤十字病院　バースセンター
参加者：83名
テーマ：輸血副作用について考えよう‼
講演１：輸血副作用とは？
　　知多厚生病院　　山本　喜之
講演２：ベッドサイドでの輸血モニタリングについて
　　藤田保健衛生大学病院　　高木　里枝
特別講演：ヘモビジランスについて
　　愛知医科大学病院　　加藤　栄史
司　会：日進おりど病院　　小木曽美紀
教科分類：専門教科　20点

《基礎講座》
日　時：基本コース：平成28年７月30日（土）
　　14：00～17：30
　　応用コース：平成28年７月31日（日）
　　９：00～17：00
場　所：名古屋市立大学医学部　基礎研究棟
参加者：88名
テーマ：実技講習会「輸血検査のテクニックを学び、現場で生かそう‼」
講　師：基本コース
　　名古屋掖済会病院　　佐藤　仁美
　　応用コース
　　愛知医科大学病院　　片井　明子
実務委員：輸血検査研究班班員
教科分類：専門教科　20点

《研究会》
日　時：平成28年５月21日（土）15：30～17：30
場　所：名古屋市立大学医学研究科・医学部
　　研究棟11階講義室A
参加者：166名
テーマ：輸血部門の危機回避と輸血検査の基礎
講演１：輸血部門の危機回避　～ヒヤリ・ハットの事例から学ぼう～
　　中部労災病院　　中井美千代
講演２：血液型検査の基礎　『なぜ・何？』
　　厚生連　豊田厚生病院　　原田　康夫
講演３：不規則抗体検査・交差適合試験の基礎
　　『なぜ・何？』
　　日進おりど病院　　小木曽美紀
司　会：愛知医科大学病院　　片井　明子
教科分類：専門教科　20点

《研究会》
日　時：平成28年11月12日（土）15：00～17：30
場　所：JA愛知厚生連　豊田厚生病院　2階講義室
参加者：80名
テーマ：症例検討会
　　「さぁ困った！　こんな時どうする？」
症例１：血液型が判定できない！
　　社会医療法人宏潤会大同病院
　　榊原千絵美
症例２：輸血しても血小板数が上がらない！
　　独立行政法人地域医療機能推進機構
　　中京病院　　水平　晶子
症例３：妊婦の抗体スクリーニングが陽性！
　　藤田保健衛生大学病院　　杉浦　　縁
司　会：春日井市民病院　　神野　洋彰
教科分類：専門教科　20点

《研究会》
（精度管理報告会）
日　時：平成29年２月11日（土）15：00～17：30
場　所：名古屋セントラル病院　多目的ホール
参加者：81名
テーマ：輸血検査の環境について見直そう！
講演１：平成28年度精度管理調査報告
　　春日井市民病院　　神野　洋彰
講演２：抗体価測定とは？
　　株式会社　カイノス　　西野　主眞
講演３：新しくなったＩ＆Ａ（輸血機能評価制度）について
　　愛知医科大学病院　　安藤　高宜
司　会：名古屋市立大学病院　　小池　史泰
教科分類：基礎教科　20点

遺伝子・染色体検査研究班

《講演会》
日　時：平成28年11月12日（土）15：00～17：00
場　所：名古屋大学医学部基礎医学研究棟
　　第三講義室
参加者：34名
テーマ：家族性腫瘍における遺伝学的検査と遺伝カウンセリング
講　師：１．BRCAを中心に家族性腫瘍遺伝子検査の実際について
　　㈱ファルコバイオシステムズ
　　遺伝子検査グループ　　古井　陽介
　２．遺伝カウンセリングとは？
　　―家族性腫瘍を中心にー
　　認定遺伝カウンセラー　大瀬戸久美子
司　会：㈲胎児生命科学センター　　長屋　清三
教科分類：専門教科　20点

《研究会》
（遺伝子染色体・病理検査研究班合同研究会）
日　時：平成28年５月14日（土）15：00～17：00
場　所：名古屋医療センター　特別会議室
参加者：84名
テーマ：免疫染色とFISH法の前処理について
　　～HER2検査を中心に～
講　師：１．免疫染色のピットホールとその対策
　　西尾市民病院　　中村　広基
　２．自動前処理器によるFISH標本作製の現状
　　名古屋第二赤十字病院　　岩田　英紘
　３．病理材料からのFISH解析の実態と染色法の工夫
　　名古屋第一赤十字病院　　郡司　昌治
司　会：名城病院　　橋村　正人
教科分類：専門教科　20点
共　催：国立病院臨床検査技師協会東海北陸支部

《研究会》
日　時：平成28年７月９日（土）15：00～17：00
場　所：株式会社カーク本社ビル5F　大会議室
参加者：27名
テーマ：行政分野における遺伝子検査
　　～愛知県衛生研究所～
講　師：１．衛生研究所等で行っている遺伝子検査
　　愛知県衛生研究所生物学部
　　細菌研究室　　松本　昌門
　２．様々な検体からの病原体核酸精製について
　　株式会社キアゲンマーケティング部
　　瀬藤　拓也
司　会：愛知県がんセンター中央病院　柴田　典子
教科分類：専門教科　20点

《研究会》
日　時：平成28年９月10日（土）15：00～17：00
場　所：スズケン名古屋支店　2F　会議室
参加者：36名
テーマ：感染症における遺伝子検査
講　師：１．当院微生物検査室における遺伝子検査の現状―魔法のLAMPの使い方―
　　厚生連江南厚生病院　　河内　　誠
　２．新しいオンデマンドPCR遺伝子検査『GeneXpert』
　　セフィエド合同会社
　　テクニカルサポート　　上野　正貴
司　会：半田市医師会健康管理センター
　　青木　佑太
教科分類：専門教科　20点

《H28年度日臨技中部圏支部遺伝子染色体検査部門研修会》
日　時：平成29年２月12日（日）10：00～16：00
場　所：ウインクあいち1101会議室
参加者：95名
テーマ：遺伝子染色体検査に触れてみませんか？
　　あなたの疑問、不安にお答えします。
講　師：１．遺伝子・染色体検査の基礎と実際
　　１）遺伝子の基礎
　　前香川県立保健医療大学大学院
　　保健医療学研究科　　上野　一郎
　　２）染色体の基礎・検査方法
　　藤田保健衛生大学医療科学部
　　臨床検査学科　　大江　瑞恵
　　リッツメディカル㈱
　　クリニカルラボラトリー
　　大橋　浩泰
　２．検査室の現状Ⅰ
　　１）染色体検査（染色法･核型表記法）
　　㈲胎児生命科学センター
　　鈴木　翔太
　３．検査室の現状Ⅱ
　　１）感染症分野
　　富山大学附属病院検査部
　　上野　智浩

２）病理分野
名古屋第一赤十字病院
細胞診分子病理診断部
郡司　昌治

３）血液分野
三重大学医学部附属病院中央検査部
池尻　　誠

４．遺伝子検査室の品質保証
―ISO取得に向けた取り組み
藤田保健衛生大学病院検査部
北原　公明

司　会：静岡赤十字病院検査部　大棟久美恵
名古屋大学医学部附属病院　渡邊かなえ
JA愛知厚生連江南厚生病院　千田　美歩
安生厚生病院　牧　明日加
中部大学生命健康科学部　祖父江沙矢加

教科分類：専門教科　20点

生殖医学検査研究班

《講演会》
日　時：平成28年12月３日（土）15：30～17：00
場　所：可世木レディスクリニック3階研修室
参加者：15名
テーマ：「少数精子の凍結保存」
講　師：高度生殖医療技術研究所
　　農学博士　荒木　泰行
司　会：可世木レディスクリニック　宮井　秀峰
教科分類：専門教科20点

《基礎講座》
日　時：平成29年２月５日（日）10：00～15：00
場　所：社会医療法人財団新和会　八千代病院
　　2階　大会議室
参加者：18名
テーマ：「少数精子の凍結保存」
　　ビデオディスカッション
講　師：可世木レディスクリニック　宮井　秀峰
　　社会医療法人財団新和会　八千代病院
　　小笠　原恵
講演１.「抗核抗体と多前核について」
講　師：医療法人　浅田レディースクリニック
　　大野　浩史
講演２.「AZFについて」
講　師：株式会社　医学生物学研究所　MBL
　　営業部　中日本エリア　手嶋　歩美
フリーディスカッション
司　会：藤田保健衛生大学　坂文種報徳会病院
　　伊藤　裕安
教科分類：専門教科20点

《研究会》
（生物化学・生殖 合同研究会）
日　時：平成28年４月２日（土）15：00～17：00
場　所：株式会社カーク本社ビル5F大会議室
参加者：47名
テーマ：婦人科系ホルモンと生殖医療
講　師：１．婦人科系ホルモンの動態
　　（一社）半田市医師会健康管理センター
　　青木　岳史
　　２．HCGの測定意義
　　藤田保健衛生大学病院　西垣　亮
　　３．生殖医療の現状
　　小牧市民病院　藤田　京子
司　会：社会医療法人大雄会　総合大雄会病院
　　森部　龍一
　　豊橋市民病院　鈴木　範子
教科分類：専門教科20点

《研究会》
日　時：平成28年７月９日（土）15：30～17：00
場　所：社会医療法人財団新和会　八千代病院
　　5階　会議室B
参加者：16名
テーマ：培養室設計の工夫
講　師：小牧市民病院　藤田　京子
　　医療法人　浅田レディースクリニック
　　中山　要
　　社会医療法人財団新和会　八千代病院
　　小笠原　恵
司　会：トヨタ記念病院　平松　博子
教科分類：専門教科20点

学術部

《新人サポート研修会Ⅰ》

日　時：平成28年６月11日（土）14：00～17：30
場　所：名古屋市立大学医学部
　　研究棟11階講義室A
参加者：144名
１．愛臨技企画
　日本臨床検査技師会概要説明
　日臨技理事　中井　規隆
２．研究班企画
　１）一般検査研究班
　「尿定性検査と髄液検査の基礎」
　①尿定性検査基礎
　豊川市民病院　永井　君
　②髄液検査の基礎
　碧南市民病院　包原　久志
司　会：JA愛知厚生連豊田厚生病院　鈴木　康太
　２）生理検査研究班
　「心電図検査の基礎」
　JA愛知厚生連江南厚生病院　柴田　康孝
司　会：あいち肝胆膵ホスピタル　淀川　千尋
教科分類：専門教科　30点
　（Ⅰ、Ⅱの二日間参加の場合）

《新人サポート研修会Ⅱ》

日　時：平成28年６月12日（日）9：30～17：05
場　所：名古屋市立大学医学部
　　研究棟11階講義室A
参加者：144名
１．研究班企画
　１）輸血検査研究班
　①製剤管理業務を理解しよう！
　JA愛知厚生連豊田厚生病院
　木村　有里
　②輸血検査の基本を理解しよう！
　碧南市民病院　浜子　宗子
司　会：JA愛知厚生連知多厚生病院　山本　喜之
２．愛臨技組織部企画
　医療従事者の接遇基礎
　中北薬品　森　有紀子
司　会：JA愛知厚生連豊田厚生病院　迫　欣二
３．研究班企画
　１）病理細胞検査研究班
　「病理・細胞検体の保存と処理方法」
　労働者健康安全機構中部労災病院
　宮地　努
司　会：国家公務員共済組合連合会名城病院
　橋村　正人
４．ランチョンセミナー
　１）「知っておきたい感染症検査の話題～針刺し事故の対応とB型・C型慢性肝炎の治療と検査～」
　ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
　加藤　仁
　２）「検査システム導入入門」
　シスメックスCAN株式会社　島井　康孝
５．愛臨技学術部企画
　「技師会活動と利益相反について」
　株式会社カーク　加納　浩示
司　会：名古屋市立大学　滝野　寿
６．研究班企画
　１）生物化学分析検査研究班
　「緊急検査関連の生化学・免疫検査について」
　①緊急検査関連の免疫検査について
　株式会社グッドライフデザイン
　佐藤　文明
　②緊急検査関連の生化学検査について
　名古屋第一赤十字病院　山森　雅大
司　会：JA愛知厚生連江南厚生病院　林　克彦
　２）血液検査研究班
　「緊急検査関連の血液検査」
　①CBC編
　JA愛知厚生連稲沢厚生病院
　蒲澤　康晃
　②凝固・線溶検査
　JA愛知厚生連海南病院　湯上小百合
　３）微生物検査研究班
　「微生物の基礎」
　豊橋市民病院　山本　優
司　会：JA愛知厚生連江南厚生病院　河内　誠
教科分類：専門教科　30点
　（Ⅰ、Ⅱの二日間参加の場合）

《スキルアップ研修会》

日　時：平成29年１月29日（日）9：20～16：50
場　所：名古屋大学医学部　基礎医学研究棟
　　4階第4講義室
参加者：152名
テーマ：救急病態と臨床検査を繋ぐ
　１．「救急検査概論」
　愛知医科大学病院　末廣　吉男
　２．「血液ガスの判読と救急病態」

ラジオメーター株式会社　三沢　泰一
司　会：名古屋大学大学院　鈴木　博子
3．「救急におけるPOCT」
春日井市民病院　後藤　慎一
司　会：中部労災病院　中井美千代
4．ランチョンセミナー
「救急医療概論」
安城更生病院　田淵　昭彦
5．「症状からみる心電図」
社会医療法人宏潤会　大同病院　野呂　美幸
6．「救急病態における生化学検査の意義」
愛知医科大学病院　大坪　弘明
7．「凝固検査から救急病態を捉える」
安城更生病院　磯村　美佐
司　会：名古屋第一赤十字病院　郡司　昌治
教科分類：専門教科　20点

会員業績集

論文

平成27年度

筆頭者	雑誌名	巻	号	頁	論文題名	共同発行者
小島　祐毅	日赤検査	48		51～54	鼠径部腫瘤に対する超音波検査～４年間の経験と今後の課題～	佐藤　幸恵・前岡　悦子 二坂　好美・清水　由貴 有吉　　彩・高津　美和 佐藤　美砂・森本　博俊 山岸　宏江・湯浅　典博
中野　好美	日赤検査	48		55～58	当院における日当直帯の輸血検査業務専任化による変化	恒川浩二郎・村上　和代 楢本　和美・二村　亜子 佐久間恵美・大屋　輝明 山岸　宏江・小澤　幸泰 湯浅　典博

平成28年度

筆頭者	雑誌名	巻	号	頁	論文題名	共同発行者
内田　一豊	Diabetes Frontier	27	2	201～207	臨床現場でのPOCT対応機器の精度管理	
服部　拓哉	Journal of Infection and Chemotherapy	22		421～423	Recurrent bacteremia with different strains of *Streptococcus pyogenes* in an immunocompromised child	Masaaki Minami, Kotaro Narita, Tomohiko Nakata, Seiko Itomi, Kinya Kubota, Teruaki Oya, Hideki Nishiyama, Hideki Kato, Norihiro Yuasa
山田　幸司	JAMTmagazine	23	2	38	検査科看護部ワーキングから病棟検査技師活動への試み	塩谷　里実・古井　　清 舟橋こずえ・中田　夏来 北川　訓子・山口　悦子 河合　浩樹
手嶋　充善	愛知県臨床検査技師会誌　らぼ	67	1	9～11	当院における妊娠糖尿病（GDM）の検討	矢吹彩也花・濱田　智博 榊原　沙知・内田　一豊 山口　育男
倉田　貴規	医学検査	65	1	12～17	末梢動脈疾患の診断・予後予測における赤血球容積分布幅の意義	柴原　聡美・宮島　悦子 田中　伯香・橋本　卓典 牧　　俊哉・加藤　秀樹 湯浅　典博
内藤　美和	医学検査	65	3	317～321	意識障害を合併した膀胱憩室による膀胱小腸瘻の一例	小島　祐毅・前岡　悦子 佐藤　幸恵・二坂　好美 清水　由貴・加藤　秀樹 湯浅　典博

筆頭者	雑誌名	巻	号	頁	論文題名	共同発行者
加藤　千秋	医学検査	65	4	472-481	自動輸血検査システムORTHO VISION™Analyzerの基礎的性能評価 - 自動検査システムの有用性と限界 -	渡邊　友美・遠藤比呂子 前田　奈弥・武村　和哉 松本　祐之・松下　正
小川　里美	医学検査	65	6	605～611	神経内分泌型非浸潤性乳管癌の細胞学的検討　－穿刺吸引細胞診の５例－	岩田　幸蔵・久野　臨 小島　伊織・堀部　良宗
堀田　美佐	医学検査	65	6	649～654	早朝病棟検体回収による始業前の結果報告	安藤由香理・加藤　秀樹 永山　円・遠藤美紀子 牧　俊哉・山中　泰子 湯浅　典博
日置　達也	医学と薬学	73	4	439～449	超急性期ACSにおける心筋マーカーおよびBNP/hsTnI比の診断性能評価	中島　義仁・浅野　博 味岡　正純
山本ゆか子	日本検査血液学会雑誌	17	2	225-232	骨肉腫で抗がん剤治療後の貧血と血小板減少	高津真由美・梶浦　容子 松本　祐之・松下　正
鈴木　敦夫	日本検査血液学会雑誌	18	1	54-60	フィブリノゲン抗原量測定試薬N―アッセイTIA Fib のCS-5100 用新規アプリケーション設定	高津真由美・松下　正
杉浦　康行	日本農村医学会雑誌	65	5	946～955	採血室における手指衛生徹底への取り組み	澤田　和久・奥平　正美 稲富　里絵・巽　則雄 磯部　貴子・岡村　武彦
井関　文	日本臨床細胞学会雑誌	55	6	406-411	Collagenous spherulosisを認めた乳腺疾患の１例	畠　榮・小林　晴美 原　稔晶・下山　芳江 中村　栄男
山田　貴子	日本臨床微生物学雑誌	26	4	21-26	POT法で解明された当院新生児センターにおけるmethicillin-resistant *Staphylococcus aureus*（MRSA）アウトブレイクの伝播様式	杉浦　康行・奥平　正美 稲富　里絵・巽　則雄 磯部　貴子・原　徹 犬塚　和久・鈴木　匡弘
名倉　鮎里	臨床化学	46	1	64-65	フルクトース過剰摂取が生体に及ぼす影響	石川　浩章
梶浦　容子	臨床病理	65	1	93-99	白血病のバイオマーカー　-検査室における活用と運用について-	山本ゆかこ・岡田かなえ 服部　光・松本　祐之 岸本磨由子・松下　正
鈴木　美穂	検査と技術	44	13	1272～1274	読者質問箱　プロゾーン現象って何ですか？	
松浦　秀哲	藤田学園医学会誌	40	1	27	当院における不規則抗体検出状況と不規則抗体検査法の後方視的検討	赤塚　美樹・杉浦　縁 荒川　章子・村松　知佳 磯貝　聡衣
内田　一豊	日本検査血液学会雑誌	18	1	147～155	悪性腫瘍細胞を見逃さないために ―自動血球分析装置での悪性細胞の検出―	鈴木　杏奈・近藤　由香

筆頭者	雑誌名	巻	号	頁	論文題名	共同発行者
東本　祐紀	日本臨床検査自動化学会会誌	41	5	703～707	インスリン測定試薬「ノルディアインスリン」の性能評価	齊藤　翠・野崎真由子 藤田　孝
西尾美津留	日本臨床微生物学会誌	27	1	23-28	帝王切開後に発症した*Mycoplasma hominis*腹腔内感染による敗血症の１症例	

出版物

平成28年度

氏　名	書　　名	頁	題　　名	発 行 所
水口　和代	JAMT magazine	39	当院における新生児センター常駐技師の取り組みと役割	日本臨床衛生検査技師会
内田　明美	JAMT 技術教本シリーズ　呼吸機能検査技術教本	81-97	第３章呼吸機能検査－換気力学的検査－	株式会社 じほう
藤田　智洋	Medical Technology	45巻3号	第55回日本臨床細胞学会秋期大会学会レビュー	医歯薬出版
菊地　良介 藤田　絢子	Medical Technology	44 (3), 314-316	国際学会へ行こう！ 第５回 発表を聞こう！ - 聴講編 –	医歯薬出版株式会社
藤田　絢子 菊地　良介	Medical Technology	44 (4), 418-420	国際学会へ行こう！ 第６回発表を聞こう！ - 質問編 –	医歯薬出版株式会社
菊地　良介 岩田　英紘 原　祐樹	Medical Technology	44 (12), 1330- 1331	私が注目したこの演題 - 第32回世界医学検査学会 –	医歯薬出版株式会社
大崎　博之 菊地　良介 松尾　英将 岡田　光貴 井垣　歩 坂本　秀夫	Medical Technology	44 (12), 1332- 1333	私が注目したこの演題 - 第32回世界医学検査学会 国際学生フォーラム –	医歯薬出版株式会社
蔵前　仁	MICROBIAL TESTING　NAVI 微生物検査ナビ第２版	Ⅰ：2～11頁 Ⅳ：323～330頁	Ⅰ 基本的な操作 Ⅳ 精度管理	栄研化学株式会社
菊地　良介	Total Vascular Management	3. 64-64	重要論文レビュー 4 ”Araki S, et al. Sirt7 Contributes to Myocardial Tissue Repair by Maintaining Transforming Growth Factor-β Signaling Pathway. Circulation. 2015.132 (12) : 1081-93.”	メディカルレビュー社
浅井　千春	検査と技術	1194～1195	尿採取量が少ない場合に尿検査を実施するための工夫	医学書院
牧　　俊哉	検査と技術 44	75～77	臨床検査のピットフォール　室温放置検体の血算値に注意！	医学書院
菊地　良介	検査と技術	45. 12-14	VEGF-Aの「質」に着目した血管病評価への新しいアプローチ	医学書院
菊地　良介	細胞工学	35 (1), 48-50.	抗血管新生因子としてのVEGF-A	学研メディカル秀潤社
北原　公明	日本染色体遺伝子検査学会雑誌	84	ラボ紹介　藤田保健衛生大学病院	日本染色体遺伝子検査学会
山口　育男	微生物検査ナビ第２版	13～22 105～179 295～319	Ⅱ　染色　Ⅲ　臨床材料から分離される微生物と検査法（胆汁・膿/分泌物/穿刺液・嫌気性菌・その他）	栄研化学株式会社

学会・講演会・研修会

平成27年度

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
加藤　秀樹	第64回日本医学検査学会	5月16日 ～17日	３種類の血液ガス用シリンジによる凝血塊発生頻度の比較検討	山森　雅大・加藤　敦美 二村　英憲・堀田　美佐 尾崎　靖将・山岸　宏江 湯浅　典博
堀田　美佐	第64回日本医学検査学会	5月16日 ～17日	入院患者の検査結果を始業時までに報告するための取り組み	加藤　秀樹・山中　泰子 遠藤美紀子・永山　　円 山岸　宏江・湯浅　典博
柴原　聡美	第64回日本医学検査学会	5月16日 ～17日	赤血球分布幅（RDW）は末梢動脈疾患（PAD）の診断・予後予測に有用である	倉田　貴規・宮島　悦子 田中　伯香・橋本　卓典 岡崎　　優・山岸　宏江 湯浅　典博
郡司　昌治	第64回日本医学検査学会 教育講演Ⅵ病理	5月16日 ～17日	個別化医療に向けた病理分野における分子病理診断解析への応用	
清水　由貴	第88回日本超音波医学会学術集会	5月22日 ～24日	出血性十二指腸潰瘍を伴った膵動静脈奇形の一例	佐藤　幸恵・前岡　悦子 二坂　好美・小島　祐毅 有吉　　彩・山岸　宏江 湯浅　典博
後藤　沙絵	第16回愛知県医学検査学会	5月31日	患者誤認の重複により採血を取り違えた一例	小島　祐毅・倉田　貴規 村上　和代・岡崎　　優 山岸　宏江・湯浅　典博
加藤　敦美	第17回日本医療マネジメント学会学術総会	6月12日 ～13日	検査部門におけるインシデントをノンテクニカルスキルの視点から解析する	牧　　俊哉・山岸　宏江 加藤　秀樹・湯浅　典博
郡司　昌治	第56回日本臨床細胞学会　ランチョンセミナー6	6月14日	細胞診断に関する遺伝子検査と意義とノウハウ～細胞検査士が身につけるべき技術を踏まえて～	
内藤　美和	第20回日赤検査学術大会	7月18日 ～19日	意識障害を合併した膀胱憩室による膀胱小腸瘻の一例	小島　祐毅・前岡　悦子 佐藤　幸恵・二坂　好美 清水　由貴・加藤　秀樹 湯浅　典博
山森　雅大	第20回日赤検査学術大会	7月18日 ～19日	動脈硬化とレムナント様リポ蛋白コレステロールとの関連	永山　　円・遠藤美紀子 加藤　敦美・堀田　美佐 加藤　秀樹・湯浅　典博
佐藤　美砂	第54回日臨技中部圏支部医学検査学会	9月26日 ～27日	乳腺超音波検査にてカテゴリー2と判定した微小浸潤性乳管癌の1例	前岡　悦子・佐藤　幸恵 二坂　好美・清水　由貴 有吉　　彩・加藤　秀樹 湯浅　典博
大屋　輝明	第54回日臨技中部圏支部医学検査学会	9月26日 ～27日	中毒性巨大結腸症を呈した劇症型Clostridium difficile感染症の2例	西山　秀樹・池上志乃富 宇佐見みゆき・美濃島　慎 服部　拓哉・加藤　秀樹 湯浅　典博

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
北岡　拓也	第54回日臨技中部圏支部医学検査学会	9月26日～27日	コアプレスタ2000を用いた２社のＦＤＰ、Ｄダイマー試薬の比較検討	牧　俊哉・山中　泰子 伊藤衣里子・長村　陽子 杉浦　由季・有井由紀子 加藤　秀樹・湯浅　典博
郡司　昌治	第33回日本染色体遺伝子検査学会総会・学術集会	9月26日～30日	HER2-FISH解析における標準化精度管理への試み	吉本　尚子・中村　朱 佐々木伸也・島田　直樹 加藤　延生・坂根　潤一 岩田　英紘・岡田かなえ 平澤　浩
杉山知咲季	第33回日本染色体遺伝子検査学会総会・学術集会	9月26日～31日	髄液FISH解析が有用であった急性前骨髄球性白血病の一例	郡司　昌治・村上　佳穂 山下　比鶴・藤野　雅彦 伊藤　雅文
尾崎　靖将	第51回日本赤十字社医学会総会	10月15日～16日	CA19-9低値例（≦2.0 U/mL）とLewis血液型の関係は測定機器・試薬により異なる	遠藤美紀子・永山　円 恒川浩二郎・安藤由香理 山森　雅大・加藤　敦美 二村　英憲・堀田　美佐 加藤　秀樹・湯浅　典博
村上　和代	第51回日本赤十字社医学会総会	10月15日～16日	輸血管理システムを用いた造血幹細胞移植システムの運用	遠藤美紀子・佐久間恵美 池口美代子・小澤　幸泰 恒川浩二郎・湯浅　典博
郡司　昌治	Vysis FISHセミナー2015	11月6日	HER2-FISH解析における標準化精度管理への試み	
郡司　昌治	愛知県臨床検査技師会例会	11月7日	悪性リンパ腫におけるFISH解析	
山田雄一郎	第62回日本臨床検査医学会学術集会	11月19日～22日	Clostridium difficile毒素陽性の診断・予後と関連する血液検査データ	浅井　祥之・加藤　秀樹 湯浅　典博
牧　俊哉	第10回医療の質・安全学会学術集会	11月22日～23日	検査室におけるノンテクニカルスキル向上のための取り組みとその検証	加藤　敦美・樋口　美砂 加藤　秀樹・湯浅　典博
郡司　昌治	平成27年度岐阜臨床検査技師会　病理・細胞診部門、遺伝子分野部門合同研修会	12月12日	分子病理学的解析の現状と今後の課題	
郡司　昌治	第二回遺伝子 研究会in金沢	1月23日	実臨床における造血器腫瘍へのFISH解析の実際-白血病、悪性リンパ腫への応用-	
郡司　昌治	平成27年度スキルアップセミナー	2月7日	多発性骨髄腫-遺伝子編-	
美濃島　慎	平成27年度スキルアップセミナー	2月7日	多発性骨髄腫-微生物編-	
郡司　昌治	愛知県臨床検査技師会例会	2月13日	FISH解析の標準化を考える	
西山　秀樹	第31回日本環境感染学会総会	2月19日～20日	SIRSサーベイランスでスクリーニングされた患者における予後予測因子	美濃島　慎・湯浅　典博 小澤　賀子・高坂久美子 黒野　康正・野村　史郎 宮村　耕一

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
郡司　昌治	Vysis FISHセミナー tokyo	3月5日	実臨床における造血器腫瘍へのFISH解析の実際	
郡司　昌治	2015年度病理技術セミナー	3月18日	実臨床でのFISH解析-FISH操作から分子病理学的診断への応用-	

平成28年度

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
山口　育男	愛知県臨床検査技師会微生物検査研究班研究会	4月2日	迷えるあなたの道標～欠如しがちな「躾」「教育」「評価」を考える～	
西垣　　亮	生物化学検査研究斑（生殖班合同開催）勉強会	4月2日	婦人科系ホルモンと生殖医療	
余語　保則	日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）第35回東海北陸地方会	4月5日	臨床検査技師の救急医療への参画	
山森　雅大	愛知県臨床検査技師会新人サポート研修会	4月11日～12日	緊急検査について～生化学検査編～	
服部　拓哉	第90回日本感染症学会	4月15日～16日	血液培養BacT/Alertシステムにおけるボトル変更が細菌培養結果に与える影響	
菅谷　直美	GE心臓超音波装置ユーザー会	4月16日	冠動脈肺動脈起始の症例報告	
野村　実花	GE心臓超音波装置ユーザー会	4月16日	成人先天性心疾患患者の心エコーについて	
齊藤　　翠	第２回名大＆保健衛生大合同勉強会	4月21日	自動分析装置の基礎知識	
皆元　裕子	第60回日本リウマチ学会総会・学術集会	4月21日～23日	診断未確定の外来関節炎患者における関節エコーの検討　～ GSスコアとPDスコアを用いて	
長坂日登美	第60回日本リウマチ学会総会・学術集会	4月21日～23日	関節エコーグレード判定における技師間差の検討	金山　康秀
安藤由香理	第18回日本医療マネジメント学会学術総会	4月22日～23日	入院患者の血液検査結果を始業時までに報告するための取り組み	加藤　秀樹・湯浅　典博
神野　真司	第27回日本心エコー図学会	4月22日～24日	無症候性あるいは軽症候性の器質性僧帽弁閉鎖不全患者に対する運動負荷心エコー図検査の有用性	山田　　晶・杉本　邦彦 伊藤さつき・加藤　美穂 犬塚　　斉・杉山　博子 高田佳代子・尾崎　行男 石井　潤一
菅谷　直美	第27回日本心エコー図学会学術集会	4月23日	冠動脈肺動脈起始症の２症例	野田　徳子・吉田　雅博 村上　　央・加田　賢治

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
渡邊　友美	第64回日本輸血・細胞治療学会総会	4月28日～30日	全自動輸血検査システムを用いた抗体価測定	加藤　千秋・武村　和哉 遠藤比呂子・松下　正
南里　隆憲	第64回日本輸血細胞治療学会総会	4月28日～30日	術前検査で見つかった血管内溶血を起こさない抗e自己抗体を有する症例	野田　祐絵
松浦　秀哲	第64回日本輸血・細胞治療学会総会	4月28日～30日	輸血検査技師リフレッシャーコースこんな時どうする？	
日置　達也	第19回日本臨床救急医学会	5月12日～14日	BNP/hsTnI比による急性冠症候群（ACS）の鑑別	中島　義仁・市原　利彦
郡司　昌治	愛知県臨床検査技師会例会	5月14日	病理材料からのFISH解析の実際と染色法の工夫	
中村　清忠	第56回日本臨床検査技師会近畿支部　医学検査学会	5月14日～15日	男女共同参画からみた女性リーダー・管理職人材育成 －男性技師の考え方－	
犬塚　斉	第10回名古屋心エコーセミナー	5月15日	ドプラの記録と計測	
吉田　光徳	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	5月19日～20日	75gOGTTにおける血糖正常高値IFGの知見	藤原　妙・阿部　麻乃 大島　彩・中村　清忠
中村　広基	愛知県臨床検査技師会病理細胞検査研究班研究会	5月14日	免疫組織化学的染色のピットフォール	
杉山　博子	第89回日本超音波医学会学術集会	5月27日～29日	移植膵の血栓評価における造影超音波の有用性	
笹木　優賢	日本超音波医学会第89回学術集会	5月27日～29日	Shear wave Elastographyを用いた腎機能評価	廣岡　芳樹・川嶋　啓揮 大野栄三郎・林　大樹朗 桑原　崇通・松原　宏紀 竹下　亨典・中村　正直 後藤　秀実
二坂　好美	第89回日本超音波医学会学術集会	5月27日～29日	急性下壁心筋梗塞に心室瘤と心室中隔穿孔を合併した１例	前岡　悦子・小島　祐毅 清水　由貴・有吉　彩 内藤　美和・佐藤　美砂 森本　博俊・湯浅　典博
野畑真奈美	第57回日本臨床細胞学会総会春期大会	5月28日～29日	横紋筋肉腫成分を伴う子宮内膜原発癌肉腫の１症例	伊藤　誠・山田　義広 中井美恵子・中根　昌洋 林　直樹・越川　卓
吉森　之恵	第57回日本臨床細胞学会	5月28日～29日	破骨細胞様多核巨細胞を伴う浸潤性乳管癌の１例	小笠原将人・佐原　晴人 北川　諭
鈴木　良典	第57回日本臨床細胞学会	5月28日～29日	子宮頸部小細胞癌の１例	小笠原将人・佐原　晴人 北川　諭
藤原　真紀	日本細胞学会春季大会	5月28日～29日	甲状腺硝子化索状腫瘍の一例	
菅原　雅	第61回日本生殖医学会学術講演会	6月5日	医療従事者における妊娠の意識調査	平松　博子
安藤　嘉崇	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	汎用試薬における高感度CRP測定精度の検証	齊藤　翠・藤田　孝 石川　隆志・石井　潤一

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
田中　亜希	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	検体取り間違いにおける前回値チェックの有効性	齊藤　翠・藤田　孝 石川　隆志・石井　潤一
平松　博子	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	精液一般検査に関するアンケート報告	菅原　雅
森下　拓磨	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	脂質検査によるF式と脂質４項目の血清保存に関する検討	瀧谷　陽子・近藤　由香 手嶋　充善・山本　恵子 小島　克枝・内田　一豊 内田　悦子・山口　育男
山口　育男	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	「スペシャリストと呼ばれる技師は、何をすべきなのか」（総括）	
加藤　雄大	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	当院における教育指導委員会の役割 ～新人から先輩技師の立場となって～	酒巻　尚子・迫　欣二 中根　生弥
川上　恵美	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	糖尿病患者における自律神経機能検査の検討	鈴木　義人・藤田　啓介 須賀　美月・松井　貴弘 鈴木　梓未・藤上　卓馬 樋口　由佳・長坂日登美 中根　生弥
須賀　美月	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	血栓形成を伴う精索静脈瘤の一例	藤田　啓介・永田　篤志 長坂日登美・中根　生弥
髙井　美帆	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	M2BPGiの基礎的検討と健診検査項目との関連性について	鈴木　梢・岡松友美子 高嶋　幹代・中根　生弥
青山　敦子	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	病棟検査技師として感じる患者からのニーズ	中根　生弥・高嶋　幹代
松浦　菜摘	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	検査部におけるインシデント対策の検討－有効性の評価－	牧　俊哉・加藤　敦美 有吉　彩・加藤　秀樹 湯浅　典博
近藤　真弓	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	当院で認められた心肺停止蘇生後の脳波について	浅沼　妙佳・中川裕紀子 深川　克美・亀山由美子 佐々木玲子・谷　美保子 堀出　剛
関口　貴裕	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	当院における気道可逆性試験とFeNO測定の比較検討	浅沼　妙佳・中川裕紀子 深川　克美・亀山由美子 佐々木玲子・谷　美保子 堀出　剛
菊田まりな	第17回 愛知県医学検査学会	6月5日	血中、尿中β2マイクログロブリン測定試薬の基礎的検討	
深川　隆恭	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	法的脳死判定を経験して	田中　夏奈・杉田　啓代 大野　善史・玉木　和子 岸　久美子・五十嵐悠子 伊藤菊久江・太田　千陽
酒巻　尚子	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	シンポジウム スペシャリストと呼ばれる技師は何をすべきなのか？」：臨床貢献の確認	中根　生弥

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
中根　生弥	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	シンポジウム スペシャリストと呼ばれる技師は何をすべきなのか？」：臨床貢献の確認	酒巻　尚子
武村　和哉	第17回愛知医学検査学会	6月5日	日臨技短期海外研修に参加して -Loyola University Medical Center-	松本　祐之・松下　　正
名倉　鮎里	第17回愛知医学検査学会	6月5日	当院における凝固検査不適合検体を見逃さないための取り組み	鈴木　敦夫・亀山なつみ 杉浦由姫乃・高津真由美 松本　祐之・松下　　正
弘津真由子	第17回愛知医学検査学会	6月5日	脳波検査の交差感染防止に関する検討	堤　ちあき・松原　宏紀 長田ゆかり・望月まり子 松本　祐之・松下　　正
藤田　雄輝	第17回愛知医学検査学会	6月5日	当院における血液培養自動分析装置変更による検出菌の比較検討 -腸内細菌科細菌を中心に-	井口　光孝・望月まり子 長田ゆかり・松本　祐之 松下　　正
北川　訓子	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	臨地実習における僻地医療拠点病院との関わり	酒巻　尚子・田中　浩一 長坂日登美・中根　生弥
下村奈千恵	愛知県医学検査学会	6月5日	糖尿病入院患者を対象とした療養指導への取り組み	大澤　道子・中村　和広 藤田　　孝・石川　隆志 成瀬　寛之・石井　潤一
西井智香子	第17回愛知県医学検査学会	6月5日	衛星現象による血小板数の経時的変動と対応策について	
宮木　祐輝	第17回愛知県医学検査学会・シンポジウム	6月5日	スペシャリストと呼ばれる技師は、何をすべきなのか症例１：担当以外の検査の重要性	
西尾美津留	第17回愛知県医学検査学会・シンポジウム	6月5日	スペシャリストと呼ばれる技師は、何をすべきなのか症例１：担当以外の検査の重要性	
田中　瑞穂	第154回日本臨床細胞学会東海連合会例会	6月9日	子宮内膜細胞診に出現した卵巣明細胞癌の一例	大池　里枝・夏目　園子 西川　恵理・横井　豊治 佐竹　立成
笹木　優賢	第41回日本超音波検査学会学術集会	6月10日 ～12日	SMIを用いたCAS術後評価	松原　宏紀・服部　真代 竹下　亨典
新村　真弓	第41回日本超音波検査学会	6月10日 ～12日	経胸壁2Dエコーと経胸壁3Dエコーによる左室流出路断面積測定の比較検討	中西　　司・村山　博紀 余語　保則
田中梨紗子	第27回ASE 2016	6月10日 ～14日	Attentive Assessment of Left VentricularDiastolic Function in Patients with Paroxysmal Atrial Fibrillation	Risako Tanaka, Kunihiko Sugimoto, Hitoshi Inuduka, Satsuki Ito, Ayaka Higashimoto, Miho Kato, Shinji Jinno, Junichi Ishii, Akira Yamada, Yukio Ozaki

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
平　澤浩	東海LBC用手法セミナー	6月11日	サイトリッチレッドを用いた液状細胞診の基礎と実践	
齊藤　翠	ビトロスRフェアin名古屋	6月11日	ドライケミストリーの評価	
山本　優	平成28年度新人サポート研修会	6月11～12日	微生物の基礎	
三田　直美	第38回日本血栓止血学会学術集会	6月16日～18日	VWF抗原が偽高値を示したvon Willebrand病症例	梶浦　容子・小川　実加 兼松　毅・岸本磨由子 鈴木　伸明・小嶋　哲人 中村　栄男・松下　正
鈴木　敦夫	第38回日本血栓止血学会学術集会	6月16日～18日	凝固波形を用いたClauss法による異常フィブリノゲン検出と妥当性評価	岸本磨由子・兼松　毅 杉浦由姫乃・亀山なつみ 高津真由美・鈴木　伸明 松本　祐之・松下　正
夏目　園子	H28年度大分細胞診従事者講習会	6月18日	Low grade尿路上皮癌の細胞像	
進士　都	第59回日本腎臓学会学術総会	6月19日	血清NaとClの差は真に血清HCo3-の指標となるか-第二報	楠木　啓史・丹羽　操 丸山　影一・露木　幹人 安田　宜成
郡司　昌治	第52回日本赤十字社臨床検査技師会業務研修会	6月19日	個別化医療における遺伝子検査の役割	
野呂　美幸	第17回東海腹部造影エコー研究会	6月25日	造影超音波検査の施行した胆管内乳頭状腫瘍（IPNB）の一例	都筑奈加子・井戸さち子 田川　容子・佐野　充子 田中富士男
中根　生弥	平成28年度愛知県技師長協議会　生涯教育研修会	6月25日	「病棟臨床検査技師の実践とその先」	
加藤　桜子	第29回脳死脳蘇生学会	6月25日～26日	移植コーディネーター教育	
中根　生弥	平成28年度生物試料分析科学会支部講演会	7月2日	「臨床検査技師による検体採取への取り組み」	
藤田　志保	第41回日本睡眠学会定期学術集会	7月7日～8日	診断に苦慮した夜間異常行動の１症例	細田　奈未
藤田　京子	愛知県臨床検査技師会生殖医学検査研究班研究会	7月9日	培養室設計の工夫	
今井　律子	第１回泌尿器細胞診新報告様式に沿ったワークショップ	7月10日	ワークショップ症例解説	
大澤紀久子	第34回愛臨技三河地区研究会	7月10日	当院における血漿交換の現状	矢吹彩也花・瀧谷　陽子 阿部　千枝・市川　寛子 神谷　光宏・山口　育男
冨田　大史	第63回日本不整脈心電学会学術集会	7月14日～17日	着用型除細動器（WCD）の作動を回避した、右室流出路起源特発性心室頻拍の１例	

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
田中　浩一	第１回中部圏認定病理検査技師企画　病理技術研修会	7月16日	～そうだったのか！病理解剖～	
川島　佳晃	愛知県血液検査研究班講演会	7月16日	リンパ系腫瘍における病理検査	
平澤　浩	知多地区病理勉強会	7月21日	LBCの基礎と応用	
平澤　浩	第３回認定病理技師試験指定講習会	7月23日	病理検査室におけるバイオハザード対策に必要な知識と技能	
佐藤　仁美	愛知県臨床検査技師会輸血検査研究班　基礎講座	7月30日	基本コース「輸血検査のテクニックを学び、現場で生かそう‼」	
梶浦　容子	第27回日本臨床化学会東海・北陸支部総会 第35回日本臨床検査医学会東海・北陸支部例会　連合大会	7月30日	シンポジウム：バイオマーカーの進歩「白血病のバイオマーカー（検査室における活用と運用について）」	高津真由美・山本ゆか子 岡田かなえ・服部　光 松本　祐之・松下　正
度會　理佳	第27回日本臨床化学会東海・北陸支部総会 第35回日本臨床検査医学会東海・北陸支部例会　連合大会	7月30日	HBs抗原の高値検体測定における自動希釈の有用性について	有馬　武史・安藤　善孝 松本　祐之・松下　正
蜂須賀靖宏	第５回日本診療多職種研究会	7月30日 ～31日	NICUにおけるABL90FLEXのアドバンテージとピットフォール	
久野　貴弘	AACC	7月31日 ～8月4日	Combination of Urinary Liver-Type Binding Protein and Albumin Improves Prediction of Acute Kidney Injury in Patients Hospitalized to CCUs	Fumihiko Kitagawa, Takashi Fujita, Takashi Ishikawa, Hiroyuki Naruse, Junichi Ishii
藏前　仁	三河耐性菌研究会	8月4日	OUTPUT or OUTCOME? ～グラム陰性耐性菌の検出から報告まで～	
浅井　千春	第８回日本臨床一般検査学会	8月6日	胸水にATL細胞が出現した１症例	小池　佳代・廣田　優美 横井　美咲・久野　臨
古川　博	第８回日本臨床一般検査学会	8月6日	精液一般検査に関するアンケート調査報告	
松浦　秀哲	オーソ®セミナー	8月6日	抗体価測定の臨床的意義～測定法の新基軸	
角屋　雅路	臨床一般検査研究会 第14回スキルアップ講習会	8月6日～7日	BALF検査法	
内田　一豊	第17回検査血液学会学術集会	8月6日～7日	ワークショップ１：悪性腫瘍細胞を見逃さないために　自動分析装置での悪性細胞の検出	戸苅みゆき・近藤　由香

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
鈴木　敦夫	第17回日本検査血液学会学術集会	8月6日～7日	合成基質を用いた新規第VIII因子およびIX因子活性測定試薬の性能評価	篠原　翔・新井　信夫 杉浦由姫乃・亀山なつみ 高津真由美・梶浦　容子 松本　祐之・松下　正
水谷　有希	第17回日本検査血液学会学術集会	8月6日～7日	骨髄性/ＮＫ性前駆細胞白血病の一例	水谷　有希・佐藤　聖子 大澤　道子・渡邉　文子 西井智香子
服部　光	第17回日本検査血液学会学術集会	8月6日～7日	ISキャリブレーター（WHO-IS）を用いたMajor BCR-ABL mRNA定量試薬の基礎的検討	梶浦　容子・山本ゆか子 高津真由美・松本　祐之 岸本磨由子・鈴木　伸明 松下　正
亀山なつみ	第17回日本検査血液学会学術集会	8月6日～7日	細胞質内に結晶様封入体を認めた慢性リンパ性白血病の１症例	高津真由美・杉浦由姫乃 鈴木　敦夫・稲垣　恵章 板倉　広治・松本　祐之 冨田　章裕・中村　栄男 松下　正
郡司　昌治	第94回日本病理技術学会教育講演	8月7日	病理材料を用いた分子生物学的解析の実際と工夫	
松浦　秀哲	第２回輸血細胞治療部門勉強会	8月13日	こんなときどうする？リバイバル版 in 三重	
齊藤　翠	第４回保健衛生大＆名大合同勉強会	8月18日	ISO取得に関して	
菊地　良介	第11回Vascular Biology Innovation Conference	8月20日～21日	VEGF-A165bと血管病の関連から病態評価への応用	室原　豊明
加藤　桜子	第15回組織移植学会	8月26日～28日	当院における組織移植体制と組織移植コーディネーターの役割	西山　幸枝・宮島　由香 剣持　敬
髙井　美帆	第１回ＳＩＥＭＥＮＳ RAPID Commユーザー会	8月27日	RAPID Point 500を用いて部門連係を図った血液ガス一元管理システムの構築	
中根　生弥	第30回北陸３県合同血液ガス分析コントロールサーベイ結果報告会特別講演	8月27日	「病棟検査技師と検体採取の実践 -2025年に向けての取り組み-」	
中村　広基	広島県臨床検査技師会	8月27日	免疫染色の精度管理 その手法と問題点	
藤田　志保	第13回睡眠学会医療技術セミナー	8月28日	筋電図・心電図解析	
Harumi Kobayashi	IFBLS2016（第32回世界医学検査医学会）	8月31日～9月4日	New trial for the purpose of the fertility preservation in Nagoya University Hospital	Naomi Furusawa, Ryosuke Kikuchi, Hiroyuki Matsumoto, Tadashi Matsushita

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
Hikaru Hattori	IFBLS2016（第32回世界医学検査医学会）	8月31日～9月4日	Basic examination of Major BCR-ABL mRNA quantification kit with IS calibrator	Yoko Kajiura, Yukako Yamamoto, Mayumi Takatsu, Hiroyuki Matsumoto, Mayuko Kishimoto, Nobuaki Suzuki, Tadashi Matsushita
Junko Kawamura	IFBLS2016（第32回世界医学検査医学会）	8月31日～9月4日	The Clinical impact of all-the-time-processing positive blood cultures	Mitsutaka Iguchi, Tetsuya Yagi, Yukari Osada, Hiroyuki Matsumoto, Tadashi Matsushita
Ryosuke Kikuchi	IFBLS2016（第32回世界医学検査医学会）	8月31日～9月4日	Urinary VEGF-A165b and estimated glomerular filtration rate -Does urinary VEGF-A165b estimate kidney function?-	Yasuda Yoshinori, Hiroyuki Matsumoto, Toyoaki Muruhara
遠藤美紀子	第32回世界医学検査学会	8月31日～9月4日	Recent management to reduce blood products wastage in a Japanese Red cross hospital	Kazuyo Murakami, Kazumi Naramoto, Ako Futamura, Kojiro Tunekawa, Yukiyasu Ozawa, Hideki Kato, Norihiro Yuasa
池上志乃富	第32回世界医学検査学会	8月31日～9月4日	Seasonal variation of blood stream infection in japan	Hideki Nishiyama, Teruaki Ohya, Hideki Kato, Norihiro Yuasa
大屋　輝明	第63回日本臨床検査医学会学術集会	9月1日～4日	血流感染症の季節性変動	西山　秀樹・池上志乃富　湯浅　典博
山森　雄大	第63回日本臨床検査医学会学術集会	9月1日～4日	終末期がん患者の１カ月生存を血液検査データから予測する	湯浅　典博・加藤　秀樹
北岡　拓也	第63回日本臨床検査医学会学術集会	9月1日～4日	終末期がん患者の７日間の生死を血液検査データから予測する	山中　泰子・加藤　秀樹　湯浅　典博
久野　貴弘	第63回日本臨床検査医学会	9月2日～4日	非ST上昇型心筋梗塞におけるトロポニンI測定の有用性	
中根　生弥	第65回日本医学検査学会	9月2日～4日	当院における鼻腔咽頭からの検体採取と効果について	
川上　恵美	第16回豊田加茂糖尿病研究会	9月3日	糖尿病患者における自律神経機能検査の検討	長坂日登美・中根　生弥　加藤　大也・澤井　喜邦
岩﨑　卓識	第65回日本医学検査学会	9月3日	愛知県下での便潜血の精度管理調査報告 -採便容器への採取方法の検討-	伊藤　康生・畔柳　里美　塩谷　里実・永井　君子　包原　久志・平田　基裕
神谷　美聡	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	ALP測定におけるIFCC対応試薬の性能評価およびJFCC法との比較検討	伊藤　英史・大嶋　剛史　中村　清忠

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
長谷川　瞳	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	real-timePCR法によるMRSA迅速検出法の検討	犬飼ともみ・藏前　仁 酒井　昭嘉・大嶋　剛史 中村　清忠
伊藤　英史	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	臨床検査部門は年間で実質いくら設備投資できるのか	大嶋　剛史・中村　清忠
長村　陽子	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	T細胞性大顆粒リンパ球性白血病の診断におけるフローサイトメトリーの意義	池口美代子・山中　泰子 伊藤衣里子・杉浦　由季 有井由紀子・加藤　秀樹 湯浅　典博
松浦　菜摘	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	慢性腎臓病患者における心電図所見と予後との関連	倉田　貴規・宮島　悦子 田中　伯香・吉川　香織 橋本　卓典・牧　俊哉 加藤　秀樹・湯浅　典博
吉本　尚子	第65回医学検査学会	9月3日～4日	愛知県におけるパパニコロウ染色の精度管理1　-染色工程表の解析-	橋村　正人
鈴木　秀幸	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	直接経口抗凝固薬（リバーロキサバン、アピキサバン、エドキサバン）の抗Xa活性の分布	竹内　達哉・長内　宏之
櫛田　智仁	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	術中脊髄モニタリングを用いて椎弓根スクリューの逸脱を検知できるか	
柴田　亜委	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	手術室での輸血部サテライトの取組みと成果について	
青山　敦子	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	入院患者だからこそ、心がけたい患者説明・相談のありかたについて	中根　生弥・高嶋　幹代
鈴木　康太	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	多項目自動血球分析装置XN-1000を用いた　腹水・胸水の基礎的検討	鈴木　崇峰・長嶌　和子 林　晃司・内田　一豊
田中　夏奈	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	微小血管減圧術におけるモニタリングの有用性～ ABR・AMRモニタリング結果と術後症状～	加藤　美穂・深川　隆恭 杉田　啓代
武村　和哉	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	学生ランチョン講演　短期留学	なし
堤　ちあき	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	経時的に脳波を観察し得た先天性GPI欠損症（IGD）の一例	大熊　相子・住田　佳陽 金　沙玲・榊原久美子 山本ゆか子・松本　祐之
有馬　武史	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	改良されたDimensionタクロリムス（TAC）測定試薬の評価	度會　理佳・菊地　良介 松山　浩之・安藤　善孝 松本　祐之・松下　正
齊藤　翠	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	日臨技精度管理調査臨床化学部門における調査試料変更の効果	坂本　徳隆・篠原　克幸 山口　純也・新関　紀康 佐々木由佳・汐谷　陽子
磯村　美佐	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	運動負荷心電図検査中に無脈性電気活動を呈し心肺停止に至った心筋梗塞の１例	水口　和代・牧　明日香 牧野　薫・濱口　幸司 岡田　元

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
牧　明日香	第65回日本医学検査学会	9月3日～4日	抗NMDA受容体抗体脳炎患者において長時間脳波モニタリングが有用であった１例	水口　和代・牧野　薫 磯村　美佐・濱口　幸司
岡田　元	第65回日本医学検査学会ランチョンセミナー	9月3日-4日	TAT短縮に向けた血漿検体使用をあらためて考える①	
鈴木　美穂	第65回 日本医学検査学会ランチョンセミナー	9月3日～4日	TAT短縮に向けた血漿検体使用をあらためて考える②	
大竹　悦子	第65回日本医学検査学会	9月4日	共同演者（呼吸機能検査の精度管理調査１　JAMTQCを利用して	
大竹　悦子	第65回日本医学検査学会	9月4日	共同演者（呼吸機能検査の精度管理調査２　施設情報との比較	
中根　生弥	第１回西三河で学ぶ救急医療と臨床検査	9月9日	当直をはじめた検査技師の方へ	
藤田　志保	第８回PSG TERAKOYA	9月10日	PSG解析ルール　睡眠段階編	
藏前　仁	第23回日本臨床微生物学会教育セミナー	9月10日～11日	迷えるあなたの道標　～欠如しがちな「躾」「教育」「評価」を考える～	
弘津真由子	第４回東海血管検査研究会	9月11日	超音波検査が有用であった静脈炎の１例	弘津真由子・笹木　優賢 金　沙玲・松原　宏紀
笹木　優賢	第４回東海血管検査研究会	9月11日	特別講演：熊本大震災での医療支援-DVT検診活動報告-	なし
岩﨑　卓識	なごやか腎臓病教室秋季特別講演会	9月11日	尿採取から検査まで	なし
鈴木　敦夫	第24回 東 海KOAG研究会	9月15日	第VIII因子インヒビターを発症した中等症血友病A症例－異常値から考える凝固検査のポイント－	なし
菅谷　直美	第２回JCHO地域医療総合医学会	9月16日～17日	冠動脈肺動脈起始症の２症例	野田　徳子・鈴木　恵子 片山　孝文・吉田　雅博 村上　央・加田　賢治 坪井　直哉
中村恵美子	第２回JCHO地域医療総合医学会	9月16日～17日	子宮内膜細胞診にて術前診断に至った子宮体癌の一例	山田　真・中西　太 佐々木稔彦・山本　智恵 山本　浩二・塚本　大輔 城　貴・片山　孝文 佐藤　朋子・服部　行紀
岡田　元	第59回愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会	9月18日	検査結果の見方について	
新村　真弓	日本心臓病学会学術集会	9月18日～20日	頸動脈超音波検査が診断に有用であった脳梗塞を惹起した胸痛の欠如した大動脈解離の一例	村山　博紀・森谷　紋子 余語　保則・岡島　崇 梅田　久規・石木　良治 岩瀬　三紀・守吉　秀行
杉山　大輔	第48回日本臨床検査自動化学会	9月22日～24日	採血量・時間経過が血清重炭酸測定値に与える影響	蜂須賀靖宏・鈴木　美穂 岡田　元

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
齊藤　翠	第48回日本臨床検査自動化学会	9月22日～24日	愛知県臨床検査精度管理調査におけるドライケミストリー評価への取り組み	藤田　孝・佐野　俊一 鈴木　博子
磯村　美佐	第48回日本臨床検査自動化学会	9月22日～24日	CS-5100におけるリアスオート・Dダイマーネオ　を用いた高感度Dダイマー測定法の検討	岡田　元
宮本　康平	日本臨床検査自動化学会　第48回大会	9月22日～24日	全自動蛍光抗体法分析装置「HELIOS」の性能評価と運用方法の検討１	伊藤　英史・磯部　勇太 大嶋　剛史・中村　清忠
磯部　勇太	日本臨床検査自動化学会　第48回大会	9月22日～24日	全自動蛍光抗体法分析装置「HELIOS」の性能評価と運用方法の検討２	宮本　康平・伊藤　英史 大嶋　剛史・中村　清忠
伊藤　英史	日本臨床検査自動化学会　第48回大会	9月22日～24日	西三河地域保険協議会における標準化事業の取り組み　－その２調査結果　血糖－	浅岡　佑介・齊藤　翠 藤田　孝・岡田　元 中根　生弥
高山　由紀	日本臨床検査自動化学会　第48回大会	9月22日～24日	ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白H-FABPの定量測定の有効性	濱子　宗子・平松　和樹
篠田　英邦	日本臨床検査自動化学会　第48回大会	9月22日～24日	SMBG検査システムにおける血糖変動評価　ADRRの導入	吉田　光徳・大嶋　剛史 中村　清忠
鈴木　優大	日本臨床検査自動化学会　第48回大会	9月22日～24日	PTH測定法における臨床的特性と相関	伊藤　英史・大嶋　剛史 中村　清忠
加藤　敦美	日本臨床検査自動化学会　第48回大会	9月22日～24日	血清ALT値からみた血清AST測定の必要性	尾崎　靖将・永山　円 加藤　秀樹・湯浅　典博
久野　貴弘	第48回日本臨床検査自動化学会	9月22日～24日	急性腎障害発生症例における尿アルブミンの測定意義	北川　文彦・武田　淳 鈴木　雅大・藤田　孝 石川　隆志・成瀬　寛之 石井　潤一
山口　高明	第48回日本臨床検査自動化学会第48回大会	9月22日～24日	LPIAジェネシスＤダイマーの基礎的性能評価	
内田　一豊	平成28年度第１回滋臨技臨床血液部門研修会	9月24日	リンパ系腫瘍細胞の見方・考え方	
岩﨑　卓識	北陸一般検査研究セミナー2016	9月25日	尿中悪性細胞の特徴を見逃さないためには	なし
大熊　相子	日本超音波医学会第37回中部地方会学術集会	9月25日	精巣腫瘍に対するエラストグラフィーの経験	山本　徳則・菊地はつみ 松川　宜久・舟橋　康人 吉野　能・後藤　百万
菊地はつみ	日本超音波医学会第37回中部地方会学術集会	9月25日	造影超音波検査を実施した透析腎癌の１例	山本　徳則・大熊　相子 松原　宏紀・坂本　史稔 後藤　百万
松原　宏紀	日本超音波医学会第37回中部地方会学術集会	9月25日	当院泌尿器科外来における検査技師による超音波検査の現状	山本　徳則・大熊　相子 菊地はつみ・鈴木　敦夫 佐々　直人・後藤　百万
笹木　優賢	日本超音波医学会第37回中部地方会学術集会	9月25日	EVAR後endoleak評価における超音波検査の有用性	廣岡　芳樹・川嶋　啓揮 大野栄三郎・桑原　崇通 松原　宏紀・中村　正直 坂野比呂志・古森　公浩 後藤　秀実

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
前岡　悦子	第37回日超医中部地方会	9月25日	成人大動脈一尖弁の１例	佐藤　幸恵・二坂　好美 小島　祐毅・清水　由貴 有吉　　彩・内藤　美和 佐藤　美砂・森本　博俊 湯浅　典博
加藤　桜子	第53回日本移植学会	9月29日 ～10月1日	大学院における移植コーディネーター教育	西山　幸枝・剣持　　敬 星長　清隆
余語　保則	平成28年度第２回臨床生理部門学術研修会	10月1日	心エコー検査のABC	
中村　清忠	第７回知照会講演会	10月1日	ISO15189認定取得とその効果	
川上　恵美	第90回糖尿病学会中部地方会	10月2日	２型糖尿病患者における自律神経反射リアルモニタ解析装置の検討	長坂日登美・中根　生弥 加藤　大也・澤井　喜邦
加藤　千秋	第40回日本血液事業学会総会	10月4日 ～10月6日	シンポジウム：MRの果たすべき役割 医療機関から期待すること	なし
加藤　桜子	第48回藤田学園医学会	10月6日 ～7日	当院における採血待ち時間の評価	松浦　秀哲・及川　彰太 杉浦　　縁・藤田　　孝 石川　隆志・成瀬　寛之 石井　潤一
長嶌　和子	一般検査研究班研究会	10月8日	寄生虫検査の現状とトピックス	
藏前　　仁	第１回ＡＧＭ微生物研究会	10月8日	尿培養のＡＢＣ	
笹木　優賢	第57回日本脈管学会総会	10月13日 ～15日	EVAR後endoleak評価における超音波検査の有用性	坂野比呂志・藤井　孝之 榊原　昌志・田畑　光紀 小山　明男・杉本　昌之 新美　清章・児玉　章朗 古森　公治
齊藤　　翠	第21回東海地区分析研究会講演会	10月14日	JCCLSの共用基準範囲について	
藏前　　仁	平成28年度長野県臨床検査技師会 微生物検査研究班研修会	10月15日	微生物検査室における検査精度の保証について	
犬飼ともみ	BD関西エキスパートセミナー	10月15日	迅速報告に向けたワークフロー再構築	
位田　陽史	愛知県臨床検査技師会 微生物検査研究班基礎講座	10月16日	講師（イムノクロマト法の原理）	
永田　篤志	第66回東海エコーカンファレンス	10月16日	超音波症例検討会「エコーっていいな」	
犬塚　　斉	第66回東海エコーカンファレンス	10月16日	エコーっていいなー心臓領域症例検討ー	
笹木　優賢	第66回東海エコーカンファレンス	10月16日	超音波症例検討会：「エコーっていいな」 血管エコー症例	なし

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
西尾美津留	愛知県臨床検査技師会微生物研究班基礎講座	10月16日	用手法検査の基礎～機械じゃない検査を学ぶいい機会～「糞便POCT」	
鈴木　敦夫	第11回安曇野シンポジウム	10月16日	全自動凝固測定装置とそのデータ解釈の注意点	なし
中村　広基	愛知県臨床検査技師会病理細胞検査研究班基礎講座	10月16日	乳腺組織の凍結標本の理論と作製のコツ	
江坂　洋一	第55回全国自治体病院学会	10月20日～21日	当院臨床検査科のNST活動への取り組み	長坂　直子・石黒　達哉 山内　昭浩
山本　　優	第55回全国自治体病院学会	10月20日～21日	当院における４年間の抗酸菌検出状況	武井　佑未・木下　育哉 山本　恵子・深田多紀子 繁原矢枝子・伊藤　由美 山口　育男
佐藤　君夫	全国自治体病院学会	10月20日～21日	ヒスタミン吸入試験実施における呼気NO値、呼吸抵抗値の検討	
阿知破　智	第52回日本赤十字社医学会総会	10月20日～21日	市販データベースソフトを用いた病理部門システムの構築	阿知波輝彦・樋口　美砂 古賀　一輝・久保　敦史 藤野　雅彦
中村　清忠	Roche QMSセミナー in 名古屋	10月21日	ISO15189取得で何が変わったか⁉ - 認定維持の難しさ -	
皆元　裕子	第48回東三河リウマチ研究会	10月22日	足趾関節エコーの重要性	
青山　敦子	第65回日本農村医学会学術 総会	10月27日～28日	患者さんに寄り添うことのできる臨床検査技師としての役割	中根　生弥・高嶋　幹代
末武　祐介	第65回日本農村医学会	10月27日～28日	愛知県厚生連8病院の臨床検査科における病院間見学研修制度の成果について―豊田厚生病院例を中心に―	酒巻　尚子・迫　　欣二 中根　生弥
杉山　結衣	第65回日本農村医学会	10月27日～28日	シリンジ採血の恐怖～医療安全の取り組み～	鈴木　康太・長坂日登美 中根　生弥・柴田　和代 服部　直樹
石川　隆志	私立医科大学病院中央検査部技師長会研修会	10月28日	外部認証JMIPについて	
Ryosuke Kikuchi	IVBM2016（第19回国際血管生物医学会）	10月30日～11月3日	Change in VEGF-A165b/VEGF-A radio as an indicator of cell therapy efficacy in patients with CLI	Kazuhisa Kondo, Ryu Hayashida, Rei Shibata, KennethWalsh, Toyoaki Murohara
余語　保則	第12回日本医療マネジメント学会愛知県支部学術集会	11月5日	診療ニーズに対応する検体検査結果報告体制のカイゼン	
皆元　裕子	RAチーム医療懇話会	11月11日	当院の関節エコーの現状	

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
水平　晶子	公益社団法人愛知県臨床検査技師会 輸血班症例検討会「さぁ困った！こんな時どうする？」	11月12日	「輸血しても血小板が上がらない！」	
杉浦　　縁	愛知県輸血検査研究会	11月12日	症例検討会「さぁ困った！こんな時どうする？」	
加藤　節子	愛知県臨床検査技師会一般検査研究班基礎講座	11月13日	基礎を学ぼう尿沈渣！－尿沈渣スライドカンファレンスー	
笹木　優賢	東海腎機能評価研究会	11月14日	超音波装置によるShear wave Elastographyを用いた非侵襲的腎機能評価	
山田　貴子	第55回臨床細胞学会秋季大会	11月18日 ～19日	捺印細胞診が有用であった肺原発髄外性形質細胞腫の１例	杉山　宗平・黒木　雅子 杉浦　記弘・深井　美樹 石川　一博・山本　宗平 酒井　　優
村上　佳穂	第55回日本臨床細胞学会秋期大会	11月18日 ～19日	甲状腺乳頭癌における穿刺吸引細胞診標本を用いたBRAF V600E変異解析の有用性	郡司　昌治・杉山知咲季 山下　比鶴・藤野　雅彦 伊藤　雅文
須藤　健助	第55回日本臨床細胞学会秋季大会	11月18日 ～19日	骨肉腫様分化を伴う悪性葉状腫瘍の１例	平澤　　浩・伊藤　里美 藤原　真紀・川島　佳晃
郡司　昌治	第55回日本臨床細胞学会秋期大会（別府11/18-19）ランチョンセミナー	11月18日 ～19日	FISHの現状と今後の課題	
今井　律子	第55回日本臨床細胞学会秋期大会	11月19日	シンポジウム：泌尿器新報告様式各判定区分に含まれるHGUCの頻度	夏目　園子・田中　瑞穂 大池　里枝・横井　豊治 佐竹　立成
北原　公明	第34回日本染色体遺伝子検査学会	11月19日	マイコプラズマ核酸検出検査（LAMP法）における新たな簡易迅速検出キットの有用性について	下村奈千恵・村山　元秀 早川　　敏・藤田　　孝 石川　隆志・石井　潤一
皆元　裕子	第３回三河関節エコー研究会	11月19日	当院の関節エコーの現状	
長坂日登美	第３回三河関節エコー研究会	11月19日	臨床的寛解達成RAにおける関節エコーの有用性	
中根　生弥	第10回東海地区日立自動分析装置ユーザー会	11月19日	「生化学自動分析装置の変遷と選定ポイント！！」	
郡司　昌治	第34回日本染色体遺伝子学会総会・学術集会ランチョンセミナー	11月19日	FISH解析における精度管理への取り組み	
有吉　　彩	第11回医療の質・安全学会学術集会	11月19日 ～20日	検査室におけるインシデント再発要因の解析- 4STEP/Mによる分析 -	牧　　俊哉・加藤　秀樹 湯浅　典博
杉浦　康行	第59回日本感染症学会中日本地方会学術集会	11月24日 ～26日	当院におけるBacteroides fragilis groupの薬剤感受性率の動向	

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
中西　太	日本臨床細胞学会東海連合会 細胞診実技講習会	11月27日	泌尿器、体腔液、消化器領域の細胞診	
服部　光	第56回日本臨床化学会年次学術集会	12月2日 ～4日	本態性血小板血症から移行した急性白血病においてJAK2遺伝子V617F変異定量値が診断に有用であった１例	梶浦　容子・濱崎　美奈 岡田かなえ・山本ゆか子 高津真由美・岸本磨由子 鈴木　伸明・清井　仁 松下　正
松本　祐之	第56回日本臨床化学会年次学術集会	12月2日 ～4日	第２回臨床化学免疫化学精度保証管理技師指定講習会　精度管理と精度保証	なし
菊地　良介	第56回日本臨床化学会年次学術集会	12月2日 ～4日	「若手育成シンポジウム」VEGF-A165ｂと血管病の関連から病態検査学の応用に向けて	なし
中村　和広	第56回日本臨床化学会年次学術集会	12月2日 ～4日	非ST上昇型心筋梗塞診断における来院時トロポニン測定の診断精度と連続測定の実施状況	北川　文彦・久野　貴弘 齋藤　翠・藤田　孝 石川　隆志・成瀬　寛之 石井　潤一
今井　律子	愛知県臨床検査技師会病理細胞検査研究班講演会	12月3日	泌尿器新報告様式に沿った細胞判定と細胞像	
上田　知仁	北陸BMセミナー	12月3日	分析装置メンテナンスの重要性	
松浦　秀哲	第３回BLOOD TRANSFUSION CONFERENCE	12月3日	BLOOD TRANSFUSION CONFERENCE	
神野　真司	愛知県臨床検査技師会生理検査研究班 基礎講座	12月4日	心臓超音波検査の基礎（講義+実技）	
犬塚　斉	平成28年度愛臨技　生理検査研究班　基礎講座	12月4日	ドプラ 記録と計測 ～知っておきたいポイント～	
大竹　悦子	愛知県臨床検査生理研究班基礎講座	12月4日	講師（心エコーの描出方法)、実技講師	
今井　律子	第156回日本臨床細胞学会東海連合会例会	12月8日	症例提示、解説　乳癌化学療法後の肉眼的血尿症例	
佐藤　理江	第55回中部医学検査学会	12月9日	BKウイルス感染を疑わせる尿中ウイルス感染細胞のスクリーニング検査の有用性	宮地　英雄・上條　隆雄 野口　輝久・恩田千佳子 楠木　啓史
大平　佳美	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月9日 ～11日	輝きある検査びとへの新軌道	中村　和広・下村奈千恵 野崎真由子・北川　文彦 加藤　桜子・石川　隆志
久野　未稀	第55回中部圏支部医学検査学会	12月9日 ～11日	操作方法が簡便なCDtoxinGDH検出キットの性能評価	和久田光毅・早川　敏 石川　隆志
笹岡　静香	第55回中部圏支部医学検査学会	12月10日	超音波検査にて経験したCVC留置に起因する内頸静脈血栓症の２症例	河村　優記・中川裕紀子 深川　克美・亀山由美子 佐々木玲子・谷　美保子 堀出　剛

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
盛田　記子	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	新生児血流感染症における血液培養陽性時間の検討	近藤　好・山田　貴子 佐藤　亜紀・杉浦　康行 桂川　陽平・巽　則雄 生川　睦子
冨田　大史	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	肥大型心筋症に合併した心室頻拍に対してカテーテルアブレーション治療を行った１例	
犬塚　斉	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	TAVIハートチームにおける当院での臨床検査技師の取り組み	磯村　美佐・牧野　薫 水口　和代・三ツ木　歩 早川　友香・冨田　大史 岡田　元
早川　友香	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	心臓超音波検査を契機に左室憩室を疑われた１症例	磯村　美佐・牧野　薫 水口　和代・犬塚　斉 冨田　大史・岡田　元
水口　和代	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	当院におけるNICU常駐技師の役割	磯村　美佐・牧野　薫 牧　明日香・岡田　元
杉山　大輔	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	当院で持続血糖測定（CGM）を施行した１型糖尿病患者の血糖変動	二村　真歩・菊田まりな 小笠原知恵・蜂須賀靖宏 鈴木　美穂・濱口　幸司 岡田　元
櫛田　智仁	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	初回の神経伝導検査でLambert-Eaton筋無力症候群を疑えなかった症例	
神谷　光宏	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	臨床検査技師が関わる救命救急センター	
山田　幸司	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	検査科看護部ワーキングから病棟検査技師　活動への試み	塩谷　里実・古井　清 舟橋こずえ・中田　夏来 北川　訓子・山口　悦子 河合　浩樹
加藤　雄大	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	当院における血液培養検査の現状と課題	杉山　裕衣・永田　悠起 塩谷　厚代・内藤　淳 迫　欣二・中根　生弥
迫　欣二	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	セルブック標本作製における溶血剤の検討	宮島　里枝・榊原　達朗 末武　祐介・加納　由美 田中　浩一・中根　生弥
須賀　美月	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	軟部腫瘤診断における超音波検査の有用性の検討	水野　文恵・藤田　啓介 宇野　志保・下竹美由紀 永田　篤志・長坂日登美 中根　生弥
永田　悠起	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	当院における血液培養陽性症例に対する微生物検査室の臨床支援体制	加藤　雄大・杉山　裕衣 塩谷　厚代・内藤　淳 迫　欣二・中根　生弥
夏目　篤二	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	子宮内膜細胞診で診断しえたNeuroendocrine carcinoma（small cell carcinoma）の一例	榊原　沙知・安藤みなみ 宮野　拓也・濱田　智博 藤井　真弓・山本　明美 山本　司

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
大島　彩	第55回日本臨床検査技師会　中部圏支部　医学検査学会	12月10日～11日	心臓を知ろう	
宮地　里美	第55回日本臨床検査技師会　中部圏支部　医学検査学会	12月10日～11日	心室中隔欠損に伴う感染性心内膜炎の一症例	中村加代子・小川　佳子 井上　健二・杉浦　正一 中村　清忠
林　直樹	第55回日本臨床検査技師会　中部圏支部　医学検査学会	12月10日～11日	当院におけるHCV遺伝子検査と治療の現状について	伊藤　英史・大島　彩 大嶋　剛史・中村　清忠
林　直樹	第55回日本臨床検査技師会　中部圏支部　医学検査学会	12月10日～11日	マイコプラズマ抗原迅速検査導入に向けて	伊藤　英史・大嶋　剛史 中村　清忠
中村　友紀	第55回日本臨床検査技師会　中部圏支部　医学検査学会	12月10日～11日	愛知県西三河地区の中規模急性期病院における　侵襲性肺炎球菌感染症の発生状況	藏前　仁・松井奈津子 犬飼ともみ・西尾　祐貴 中村　清忠
伊藤衣里子	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	末梢血幹細胞採取時の多項目自動血球分析装置による造血前駆細胞測定の意義	池口美代子・山中　泰子 長村　陽子・杉浦　由季 加藤　秀樹・湯浅　典博
佐久間恵美	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	検査通知システム導入による輸血後感染症検査実施状況の変化	村上　和代・遠藤美紀子 楢本　和美・二村　亜子 芝口　好美・加藤　秀樹 湯浅　典博
古賀　一輝	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	CD3抗体を用いた免疫組織化学染色精度管理調査結果報告～一次サーベイ～	坂倉　健司・佐藤　浩司 藤田　智洋・杉山　宗平 浅野　敦
中原　叔恵	第55回中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	胸部領域における術後高アミラーゼ血症の発生状況について	朝倉佳代子・宇野稚香子 和出　弘章
吉本　尚子	第55回中部圏支部医学検査学会　病理・遺伝子研究班合同企画	12月10日～11日	HER2 FISH検査の院内化への取り組み	
服部　聡	第55回中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	当院における大腸癌健診陽性者の追跡調査報告	加藤　節子・今井　律子 山内　昭浩
及川　彰太	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	新設した採血・採尿センターの取り組みと運用報告	松浦　秀哲・杉浦　縁 加藤　櫻子・藤田　孝 石川　隆志
齊藤　翠	第55回日臨技中部圏支部医学検査学会	12月10日～11日	血液と尿の検査でどこまで分かる？病態推理の限界に挑戦！	
原　稔晶	平成28年度日本臨床衛生検査技師会中部圏支部医学検査学会（第55回）	12月10日～11日	中部圏におけるEstrogen Receptor抗体の免疫組織化学染色の精度管理 二次サーベイ及び追加検討	田中　浩一・浅野　敦
宮川　純奈	平成28年度日本臨床衛生検査技師会中部圏支部医学検査学会（第55回）	12月10日～11日	共焦点レーザー顕微鏡を用いた切片厚の検討	鈴木　利明・佐藤　浩司 小林　晴美・原　稔晶 加藤　衣央・橋本　克訓

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
山本ゆか子	平成28年度日本臨床衛生検査技師会中部圏支部医学検査学会（第55回）	12月10日～11日	部門別研究班企画『症例から学ぶ凝固検査の基礎　～時間外・当直時に慌てない為の知識～』FDP、D-ダイマー、ＳＦ	なし
藏前　仁	三河耐性菌研究会	12月15日	日臨技・愛臨技精度管理調査から学ぶ	
中村　友紀	三河耐性菌研究会	12月15日	2016年度日臨技サーベイより　－MRSAの同定と感受性について－	
藏前　仁	第19回微生物カンファレンス東海	1月14日	同定・感受性検査に苦慮した敗血症の１例	
岩﨑　卓識	尾張東地区・一般検査研究班合同研修会	1月14日	ここが大切!!尿検査　講演４「異型細胞について」	なし
藏前　仁	第28回日本臨床微生物学会総会・学術集会	1月20日	Aerococcus urinaeによる重症感染性心内膜炎の１例	松井奈津子・犬飼ともみ 伊藤　誠
松井奈津子	第28回日本臨床微生物学会総会・学術集会	1月20日	MALDI-TOF MSを用いた糸状菌のOn-plateギ酸処理法に関する検討	犬飼ともみ・藏前　仁 伊藤　誠
西尾美津留	第28回日本臨床微生物学会	1月20日～22日	改良クロモアガーMRSAスクリーニング培地と各種MRSAスクリーニング培地の比較検討	宮木　祐輝
大蔵　照子	第28回日本臨床微生物学会総会・学術集会	1月20日～22日	微生物検査担当技師による培養検査365日体制の導入	長田ゆかり・伊藤まゆみ 嶋岡　菜美・三田　直美 藤田　絢子・藤田　雄輝 加藤　大三・八木　哲也
嶋岡　菜美	第28回日本臨床微生物学会総会・学術集会	1月20日～22日	汎用性の高い薬剤感受性プレートの構築	井口　光孝・長田ゆかり 伊藤まゆみ・大蔵　照子 三田　直美・藤田　絢子 藤田　雄輝・八木　哲也
美濃島　慎	第28回日本臨床微生物学会総会	1月20日～22日	VITEK MSによる血液培養陽性検体の直接同定	西山　秀樹・池上志乃富 浅見さをり・宇佐見みゆき 鈴木真由子・長村　陽子 服部　拓哉・大屋　輝明 加藤　秀樹・湯浅　典博
内田　一豊	平成28年度　日臨技中部圏支部　臨床血液部門研修会	1月21日～22日	リンパ球を好きになろう　～リンパ系腫瘍を学ぼう～	
大竹　悦子	日本臨床検査技師会中部圏支部生理検査研修会	1月21日～22日	講師（呼吸機能検査が好きになる！検査のすすめ方、考え方）	
新谷　知世	第30回日本臨床衛生検査技師会中部圏支部生理検査研修会	1月21日～22日	皮膚再灌流圧検査のポイント	
鈴木　敦夫	第11回日本血栓止血学会学術標準化委員会（SSC）シンポジウム	1月21日	合成基質法測定試薬の性能評価と一段法との相関	篠原　翔・新井　信夫 岸本磨由子・兼松　毅 鈴木　伸明・松下　正
青木　隆恵	第28回日本臨床微生物学会	1月21日	髄膜炎菌と誤同定したNeisseria oralis菌血症の１例	市川佳保里・高石　洋子 長田ゆかり・井口　光孝

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
中西　太	愛知県臨床細胞学会細胞検査研修会	1月22日	呼吸器領域の細胞診	
齊藤　翠	第５回保健衛生大＆名大合同勉強会	1月25日	JSCC標準化対応法	
皆元　裕子	美濃加茂関節リウマチ研修会	1月26日	関節エコーの実際とデモンストレーション	
藤田　志保	第１回ＮＹＵＭＯＮ	1月28日	ＰＳＧセンサー実践	
長嶌　和子	2017カスタマーカンファレンスin名古屋	1月28日	XN BFモード運用研究会報告会	
磯村　美佐	平成28年度愛臨技 スキルアップセミナー	1月29日	凝固検査から救急病態を捉える	
笹木　優賢	平成28年度第２回近畿・中部地区国立大学病院臨床検査技師長会議・若手合同研修会	2月3日	若手技師から見る積極的な診療貢献	なし
犬塚　斉	第７回西三河超音波講習会	2月4日	心エコーで経過観察ができた冠動脈瘻の一例	磯村　美佐・牧野　薫 水口　和代・三ツ木　歩 早川　友香・冨田　大史 岡田　元
村山　博紀	第７回西三河超音波講習会	2月4日	血栓？腫瘍？それとも・・・	
榊原久美子	第38回脊髄機能診断研究会	2月4日	当院の脊椎手術における術中経頭蓋刺激-筋誘発電位（Br-MsEP）の偽陽性率について	堤　ちあき・大熊　相子 住田　佳陽・金　沙玲 山本ゆか子・弘津真由子 松本　祐之・松下　正 西村　由介・江口　馨 福岡　俊樹・吉川　哲史 小林　和克
岡本　明紘	愛知県臨床検査技師会生物化学分析検査研究班研究会	2月4日	平成28年度愛知県臨床検査精度管理報告　免疫血清部門	
平澤　浩	静岡県細胞診従事者講習会	2月4日	サイトリッチレッドを用いた液状細胞診の基礎と応用	
杉山　博子	フクダ電子超音波講習会	2月5日	超音波講習会	
上田　知仁	H28年度尾張北部地区メディカルコントロール協議会	2月7日	救急救命士における針刺し防止について	
中根　昌洋	病理細胞検査研究班研究会	2月11日	精度管理調査報告　細胞検査部門	
岩﨑　卓識	平成28年度愛臨技精度管理報告会【一般部門】	2月11日	平成28年度愛臨技製管理報告会【一般分野】	なし
内田　由香	第27回生物試料分析科学会年次学術集会	2月11日 ～12日	三次救急における検査技師の役割について	久野　貴弘・藤田　孝 石川　隆志・石井　潤一
北原　公明	平成28年度中部圏支部遺伝子染色体検査研修会	2月12日	ISO取得に向けた遺伝子検査室の取り組み	

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
大嶋　慎也	日本超音波検査学会第26回中部地方会	2月12日	術前心臓超音波検査で左房内血栓と乳頭状線維弾性腫を認めた一例	村山　博紀・新村　真弓 余語　保則
岸　久美子	JSS中部　第26回地方会	2月12日	左房内腫瘤の一例	五十嵐悠子・武内　由佳 玉木　和子
加藤　桜子	第50回臨床腎移植学会	2月15日 ～16日	移植コーディネーター教育　大学院の役割	西山　幸枝・剣持　　敬 星長　清隆
冨田　大史	第９回植え込みデバイス関連冬季大会	2月16日 ～18日	遠隔モニタリングにより、電気的リセットの早期発見に至ったEnRhythmの１症例	
磯貝　聡衣	第68回日本輸血・細胞治療学会東海支部例会	2月18日	当院におけるカリウム吸着フィルターの使用状況	松浦　秀哲・杉浦　　縁 坂本　悠斗・永田　梨奈 及川　彰太・松野　貴洋 西垣　　亮・加藤　友理 村松　知佳・荒川　章子
中根　生弥	第10回シーメンス　ラボラトリーマネージメント　セミナー	2月18日	「地域で育てる人材育成の実践」	
野呂　美幸	第10回日本カプセル内視鏡学会学術集会	2月19日	大腸カプセル内視鏡（PillCamCOLON２）のスケール精度	佐野　充子・田中富士男
杉山　大輔	第７回東海腎機能評価研究会 講演会	2月20日	血清重炭酸測定における注意点	
楠木　啓史	東海腎機能評価研究会	2月20日	重炭酸測定における現状	
江坂　洋一	第32回日本静脈経腸栄養学会	2月23日 ～24日	当院NST介入症例における診療科別の血液検査の測定状況について	長坂　直子
藏前　　仁	第32回日本環境感染学会総会・学術集会	2月24日	臨床検査室における手指衛生遵守率向上への取り組み	犬飼ともみ・大島　　彩 佐藤　浩二・中村不二雄
犬飼ともみ	第32回日本環境感染学会総会・学術集会	2月24日	当院における5年間の血液培養実施状況の推移	藏前　　仁・大島　　彩 佐藤　浩二・中村不二雄
青木　隆恵	第32回日本環境感染学会	2月24日	髄膜炎菌と誤同定したNeisseria oralis菌血症の1例	榊原　千枝・土田　大輔 二神　諒子・横井　博子 池上　信昭・小島　由美 西川　和夫・山本　雅史 井口　光孝
宮木　祐輝	第32回日本環境感染学会	2月24日 ～25日	血液培養陽性結果の対応からみた抗菌薬ラウンドの影響について	西尾美津留
長田ゆかり	第32回日本環境感染学会総会・学術集会	2月24日 ～25日	外来採血室における感染対策の取り組み	兵道美由紀・豊留　有香 手塚　宣行・井口　光孝 加藤　大三・八木　哲也
松浦　秀哲	輸血細胞治療部門研修会	2月25日	（他職種公開講座）チームとして考える輸血医療 「ヒヤっとする輸血事例を考えよう」 ブレインストーミングを用いた検証および対策検討	
今井　律子	第16回泌尿器細胞診カンファレンス	2月25日	スライドカンファレンス症例提示、解説	

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
中村　清忠	LUMIPULUS FORUM　2017	2月26日	ISO15189認定取得－準備、審査そして維持活動－	
中村　友紀	三河耐性菌研究会	3月2日	三河地区における耐性菌の現状	
中村　友紀	愛知県臨床検査技師会・微生物研究班・愛臨技精度管理事業	3月4日	二級臨床検査士試験から学ぶ微生物検査の基礎技術	
齊藤　　翠	平成28年度日臨技臨床検査精度管理調査総合報告会	3月4日	平成28年度　日臨技 臨床検査精度管理調査報告臨床化学部門	
西尾美津留	第４回中部実践感染対策セミナー	3月5日	私の一日	
中村　友紀	第17回三河耐性菌感染症　研究会	3月10日	三河地区における耐性菌の現状	
中根　昌洋	愛知県臨床検査技師会精度管理調査報告会および特別講演会	3月11日	精度管理調査報告　細胞検査部門	
手嶋　充善	平成28年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会	3月11日	精度管理報告生理検査部門	
岡本　明紘	愛知県臨床検査精度管理調査報告会	3月11日	平成28年度愛知県臨床検査精度管理報告　免疫血清部門	
藤木　翔太	第334回日本臨床化学会東海・北陸支部例会	3月12日	抗癌剤治療施行患者における心筋傷害の評価	北川　文彦・齊藤　　翠 藤田　　孝・石川　隆志 成瀬　寛之・石井　潤一
藤田　志保	第25回日本PSG研究会東海支部例会	3月12日	PSGから見るてんかん	
福本　純一	第25回日本PSG研究会東海支部例会	3月12日	解離性障害	
鈴木　　梢	第７回東海免疫ナビゲイターズ・ネットワーク	3月15日	乳癌検査について知ろう	
水谷　有希	第36回私立医科大学臨床検査技師研修会	3月17日	第35回セミナー参加後の当院での取り組み	
中村　友紀	第４回　BDエキスパートセミナー	3月18日	地区サーベイランスから見えた耐性菌検査の課題	
田中　瑞穂	第36回日本臨床細胞学会東海連合会総会ならびに学術集会	3月18日	エナメル上皮腫の細胞像－症例報告－	大池　里枝・夏目　園子 森下　文子・西川　恵理 横井　豊治・佐竹　立成
今井　　淳	第36回日本臨床細胞学会総会・学術集会	3月18日	EUS-FNAによる迅速細胞診の有用性	久野　久則・鈴木　孝幸
中村　広基	高知県臨床検査技師会	3月25日	病理検査の標準化を考える	
鈴木　敦夫	凝固因子活性を考える会	3月26日	合成基質法を用いた因子活性測定の現状と課題	なし
菊地　良介	腎・泌尿器検査研究会第12回学術集会	3月26日～27日	VEGF-A165bと血管病・肥満症との関連性から腎機能検査への応用	

アークレイは糖尿病ケアを
トータルでサポートします

糖尿病検査システム

SMBG 関連商品

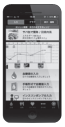
測定サポート

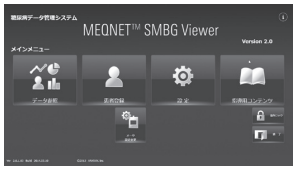
合併症サポート

療養指導資材
セミナー・研究会

患者さま　医療スタッフ

糖尿病専門クリニック向け
電子カルテ





糖尿病治療管理

お問い合わせ先
アークレイ マーケティング株式会社
東京本社
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-20-20大雅ビル4F
TEL.050-5527-7700（代）

アークレイ株式会社

DIAGNOSTICS

Abbott

アボット ジャパンは、
これからの医療課題に対し
検査を通じて貢献するため、
皆様と共にチャレンジし続けます

3600 万人 ※1

2.5 倍 ※2

54 兆円 ※3

※1 総務省「国勢調査」及び「人口統計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」
※2 社会保障・人口問題研究所「平成23年度社会保障費用統計」、
厚生労働省「平成23年度国民医療費の概況」および「社会保障に係る費用の将来推計の改訂について」
※3 公共社団法人 全日本病院　伏見委員「患者調査、DPC 調査等の統計調査データを用いた看護職員必要数の長期将来推計に関する検討」

CHOOSE TRANSFORMATION™

アボット ジャパン株式会社　〒108-6305 東京都港区三田3-5-27住友不動産三田ツインビル西館　TEL:03-4555-1000　© Abbott Japan Co.,Ltd.,2017

201611011

一般医療機器　移動式ディスクリート方式臨床化学自動分析装置
一般医療機器　便潜血測定装置
特定保守管理医療機器　OCセンサーPLEDIA
製造販売届出番号　13B1X90003010009

'Eiken'

OC-SENSOR PLEDIA

継承と革新から生まれた
分析装置の新基準

MORE SIMPLE,
MORE QUALITY

品質も、生活も、「もっと」の声に応えたい

- 大量検体への適応
- ユーザビリティの強化
- ランダムアクセス機能の搭載
- 自動システムの充実
- グローバルスタンダードを
  目指して

BRAVE CIRCLE
大腸がん撲滅キャンペーン

栄研化学は、BRAVE CIRCLEをサポートしています。
キャンペーンについての詳しい情報は、スペシャルWEBサイトで。
www.bravecircle.net

ご使用の際は、本装置に添付の「添付文書」および「取扱説明書」を必ずご参照ください。
なお、改良・外観については予告なしに変更することがございますので予めご了承ください。

販売元　栄研化学株式会社
〒110-8408 東京都台東区台東4丁目19番9号

製造販売元　株式会社日立製作所
〒110-0015 東京都台東区東上野二丁目16番1号

0072 BK
2016年3月作成

sysmex

「最先端」をカタチに。

- 全項目17分の反応系で
  最大200テスト/時の迅速測定
- 化学発光基質CDP-*Star*®による
  高感度測定系
- 10～30μL/テストの微量検体
- 連続測定可能な
  コンティニアスローディングシステム
- 検体搬送ライン接続対応

全自動免疫測定装置
HISCL®-5000
医療機器製造販売届出番号:28B2X10007000117

HISCL専用試薬ラインアップ

感染症	HBsAg、HBsAb、HCVAb、TPAb、HTLV-Ⅰ Ab、HBeAg、HBeAb、HBcAb、HIVAg+Ab、HCVGr
甲状腺	TSH、FT4、FT3
腫瘍マーカー	AFP、CEA、PSA、CA19-9、CA125、CA15-3、ProGRP、PIVKA-Ⅱ※
凝固分子マーカー	TAT、PIC、TM、tPAI・C
内分泌	インスリン、HCG
心筋マーカー	NT-proBNP、トロポニンT
その他	フェリチン、KL-6※、SP-A、TARC、ANP、M2BPGi®、PGⅠ/Ⅱ

※印商品のお問い合わせ先:エーディア株式会社

■ 開発中項目 HBcIgM、HAVIgM、HAVIgG、CK19F、TgAb、TPOAb、LH、FSH

(2016年8月現在)

NEW

Th2ケモカイン・TARCキット
HISCL® TARC試薬 *
体外診断用医薬品製造販売認証番号:225AAAMX00132000

- アトピー性皮膚炎の重症度マーカーとして
  TARC検査が有効です。
  高感度かつワイドレンジな試薬で
  反応時間17分の迅速測定を実現します。

＊ 製造販売元:シオノギ製薬株式会社

●パンフレット、資料は下記にご請求ください。

We Believe the Possibilities.

製造販売元
シスメックス株式会社
本　　社　神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 〒651-0073

(お問い合わせ先)
支　　店　仙　台 022-722-1710　北関東 048-600-3888　東　京 03-5434-8550　名古屋 052-957-3821　大　阪 06-6337-8300　広　島 082-248-9070　福　岡 092-411-4314
営 業 所　札　幌 011-700-1090　盛　岡 019-654-3331　長　野 0263-31-8180　新　潟 025-243-6266　千　葉 043-297-2701　横　浜 045-640-5710　静　岡 054-287-1707
　　金　沢 076-221-9363　京　都 075-255-1871　神　戸 078-251-5331　高　松 087-823-5801　岡　山 086-224-2605　鹿児島 099-222-2788
日本東アジア地域本部　03-5434-8565

www.sysmex.co.jp

注:　活動及びサイトの適用範囲は規格により異なります。
詳細は www.tuv.com の ID 0910589004 を参照。
Note: Scopes of sites and activities vary depending on the standard.
For details, refer to the ID 0910589004 at www.tuv.com

Design Your Smile
健康創造のスズケングループ

SUZUKEN

地球の健康とすべての人々の健康で
豊かな生活に貢献したい。
それが私たちスズケンの壮大なテーマです。

スズケンの事業領域は、健康創造。医薬品流通業界のリーディングカンパニーとして医薬品・医療機器の供給をはじめ健康に関するあらゆる分野でお役に立てるプライム・ベンダーをめざしています。

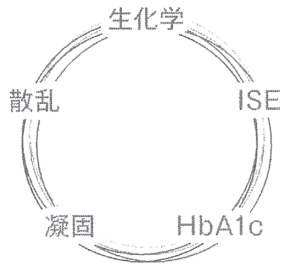
株式会社スズケン
本社／名古屋市東区東片端町8番地 〒461-8701 TEL(052)961-2331
http://www.suzuken.co.jp

HITACHI
Inspire the Next

継承、そして革新

日立が培ってきた技術と経験をもとに、生化学自動分析装置が、
複合型自動分析装置に進化しました。
多彩な機能と光学系の新技術の搭載によって、5つの測定を1台に集約。
それぞれの検査機関の業務スタイルにあわせた運用が可能です。
よりよいワークフローを実現する新しい複合型自動分析装置のかたち ——
日立自動分析装置3500、ここに誕生。

日立自動分析装置
3500



製造販売届出番号：05B2X10004000042
一般的名称：ディスクリート方式臨床化学自動分析装置
一般医療機器（特定保守管理医療機器該当、設置管理医療機器該当）

株式会社 日立ハイテクノロジーズ
本　社　〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号
お客様サポートセンタ（03）3504-7211
www.hitachi-hightech.com/jp/science/
北海道（札幌）（050）3180-4094　関　西（大阪）（050）3180-4878
東　北（仙台）（050）3180-4065　九　州（福岡）（050）3180-4151
中部（名古屋）（050）3180-4067

ユニセル
UniCel DxH シリーズ
コールターセルラーアナリシスシステム

ハイエンドクリニカル
フローサイトメーター
Navios EX

Hematology
血液学検査ソリューション

自動分析装置
DxC 700 AU

自動分析装置
AU5800

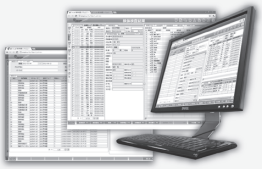
Chemistry
生化学検査ソリューション

ユニセル
UniCel DxI 600/800
全自動化学発光酵素免疫測定装置

Immunoassay
免疫検査ソリューション

マイクロスキャン WalkAway 96/40 Plus
微生物同定感受性分析装置

Microbiology
微生物検査ソリューション



臨床検査システム
Be-Lis/DxLab-LIS

LIS
情報システムソリューション

Advancing healthcare for every person

革新的で高品質な臨床検査ソリューションを提供し、
すべての人の健康に貢献します。

BECKMAN COULTER
Move healthcare forward.

ベックマン・コールター株式会社

本　社：〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7 TOC有明ウエストタワー
お客様専用 0120-566-730　URL http://www.beckmancoulter.co.jp

μTAS 技術とPCR 法の出会いが
今までにない新しい価値を生み出します

全自動
約45分

核酸抽出 ≫ 精 製 ≫ 増 幅 ≫ 検 出

≫ 迅速・全自動

核酸抽出・精製・PCR増幅・分離・検出を全自動で行います。
開始後約45分で測定が終了します。

≫ μTAS技術

マイクロチップ内でPCR増幅した産物を電気泳動で分離分析することにより目的物質を検出しています。

≫ 操作簡便

試薬・チップなどをセット化しました。
試料と試薬･消耗品類を計4点セットするだけで測定が開始できます。

≫ 測定試薬 体外診断用医薬品

マイコバクテリウム核酸キット

▶ミュータスワコー MTB（識別記号：g1）
承認番号22800EZX00020000

▶ミュータスワコー MAC（識別記号：g1）
承認番号22800EZX00024000

全自動遺伝子解析装置　ミュータスワコー　g1

μTAS Wako g1

Fully Automated Genetic Analyzer

医療機器届出番号 27B3X00024000016

【製造販売元】
和光純薬工業株式会社
〒540-8605　大阪市中央区道修町三丁目1番2号

【問い合わせ先】
臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
TEL: 03-3270-9134（ダイヤルイン）

alfresa

アルフレッサ株式会社
〒101-8512 東京都千代田区神田美土代町7番地　住友不動産神田ビル13F 14F 15F　TEL.03-3292-3331(代)

研究開発
支援企業として、
「産・学・官・医」を
支えています。

株式会社カークは、「創造と努力」
「誠実と感謝」の企業理念のもと、
試薬、分析機器、検査薬、工業薬品などの
販売を通して社会に貢献しています。
研究開発支援企業として
あらゆるニーズにお応えいたします。

株式会社 カーク

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-8-5　TEL.052-971-6533(代)
営業一部 TEL.052-971-6771　営業二部 TEL.052-971-6551
営業三部 TEL.052-971-6772　愛知東営業所 TEL.0564-66-1580
愛知南営業所 TEL.052-624-5819　浜松営業所 TEL.053-431-6801
岐阜営業所 TEL.058-268-8151　三重営業所 TEL.059-236-2531
東京営業所 TEL.03-3868-3951　神奈川営業所 TEL.045-326-6651
四日市営業所 TEL.059-337-9700　大阪営業所 TEL.06-6389-2411
静岡出張所 TEL.054-654-3550

免疫発光測定装置
LUMIPULSE® L2400
医療機器製造販売届出番号　13B3X10001000021

免疫・生化学連結型分析装置
FUXION+
フュージョンプラス

生化学自動分析装置
BioMajesty™ ZERO
JCA-ZS050
医療機器製造販売届出番号　13B3X00100000002

製造販売元
富士レビオ株式会社
〔問い合せ先〕　お客様コールセンター　0120-292-832

編 集 後 記

今年も多数の論文や発表の業績が集まり、会員のモチベーションの高さを感じます。愛知県臨床検査技師会は法人設立30周年を迎えました。これもひとえに諸先輩技師の方々の熱意と努力によるものと思われます。私も検査技師となり30年が経ちますが、新人の頃に先輩技師が、夜遅くまで学会発表の検討を行っていたのを思い出します。今後も活発に技師会活動に取り組みたいと思います。

世界に目を向けると、トランプ氏が第45代アメリカ大統領になり、自国第一主義やパリ協定からの離脱表明などで世界中が驚愕しました。隣国では度重なるミサイルの発射、各地でテロ事件も多発しています。一方、日本では稀瀬の里が19年ぶりに日本人横綱となり日本中を沸かせ、将棋の藤井聡太四段や卓球の張本智和選手など若い方々の活躍も目立ちます。愛臨技も短期・中期事業計画として次世代リーダーの育成、若手技師のスキルアップ、女性活用に取り組んでいます。今後の若手技師の活躍を期待しています。本年度は中部圏支部学会、全国「検査と健康展」等の大きな行事が愛知県で開催され、若手会員のみなさんも多数の参加、発表をされることと思いますので、来年も「会誌らぼ」に多数の投稿をお待ちしています。

広報部　　井上　正朗

公益社団法人　愛知県臨床検査技師会誌　らぼ
第68巻　第1号

発行　平成29年9月1日

発 行 所：**公益社団法人　愛知県臨床検査技師会**
名古屋市中村区名駅五丁目16-17　花車ビル南館
電話（052）581 － 1013
発 行 人：椙　山　広　美
編 集 人：山　田　　真
編集委員：中　根　生　弥、片　山　孝　文
井　上　正　朗
印 刷 所：山菊印刷株式会社